

地域中小企業 応援ファンド一覽

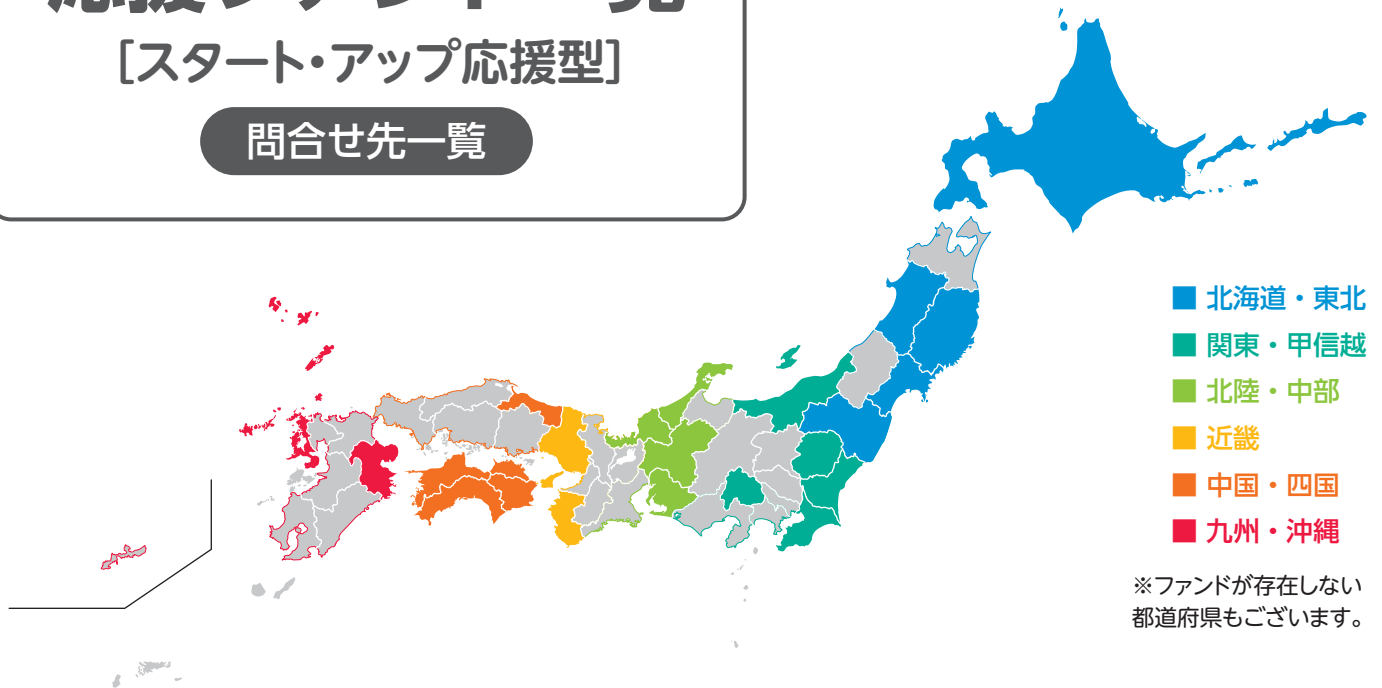
[スタート・アップ応援型]



地域中小企業 応援ファンド一覧

[スタート・アップ応援型]

問合せ先一覧



北海道・東北

	都道府県名	ファンド名称	ファンド運営管理者	電話番号
01	北海道	北海道中小企業新応援ファンド	公益財団法人 北海道中小企業総合支援センター	011-232-2001
02	岩手県	いわて希望応援ファンド	公益財団法人 いわて産業振興センター	019-631-3823
03	岩手県	いわて希望応援ファンド(農商工連携型)		
04	宮城県	みやぎ中小企業チャレンジ応援基金	公益財団法人 みやぎ産業振興機構	022-225-6697
05	秋田県	あきた中小企業みらい応援ファンド	公益財団法人 あきた企業活性化センター	018-860-5702
06	秋田県	あきた農商工応援ファンド		
07	福島県	ふくしま産業応援ファンド	公益財団法人 福島県産業振興センター	024-525-4070

関東・甲信越

	都道府県名	ファンド名称	ファンド運営管理者	電話番号
08	茨城県	いばらきチャレンジ基金	公益財団法人 いばらき中小企業グローバル推進機構	029-224-5317
09	栃木県	とちぎ未来チャレンジファンド	公益財団法人 栃木県産業振興センター	028-670-2601
10	栃木県	フードバレーとちぎ農商工ファンド		028-670-2608
11	千葉県	ちば中小企業元気づくり基金	公益財団法人 千葉県産業振興センター	043-299-2901
12	千葉県	ちば農商工連携事業支援基金		
13	新潟県	にいがた創業応援基金	公益財団法人 にいがた産業創造機構(NICO)	025-246-0025
14	山梨県	山梨みらいファンド	公益財団法人 やまなし産業支援機構	055-243-1888

北陸・中部

	都道府県名	ファンド名称	ファンド運営管理者	電話番号
15	石川県	いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド	公益財団法人 石川県産業創出支援機構	076-267-5551
16	福井県	ふくいの逸品創造ファンド	公益財団法人 ふくい産業支援センター	0776-67-7400
17	岐阜県	岐阜県地域活性化ファンド	公益財団法人 岐阜県産業経済振興センター	058-277-1083
18	愛知県	あいち中小企業応援ファンド	公益財団法人 あいち産業振興機構	052-715-3074

近畿

	都道府県名	ファンド名称	ファンド運営管理者	電話番号
19	兵庫県	ひょうご農商工連携ファンド	公益財団法人 ひょうご産業活性化センター	078-977-9072
20	和歌山県	わかやま中小企業元気ファンド	公益財団法人 わかやま産業振興財団	073-432-3412
21	和歌山県	わかやま農商工連携ファンド		

中国・四国

	都道府県名	ファンド名称	ファンド運営管理者	電話番号
22	鳥取県	とっとり起業化促進ファンド	公益財団法人 鳥取県産業振興機構	0857-52-6707
23	徳島県	「LED×藍」産業応援ファンド	公益財団法人 とくしま産業振興機構	088-654-0102
24	徳島県	「とくしま経済飛躍」ファンド		
25	香川県	新かがわ中小企業応援ファンド	公益財団法人 かがわ産業支援財団	087-868-9903
26	愛媛県	えひめ中小企業応援ファンド	公益財団法人 えひめ産業振興財団	089-960-1201
27	愛媛県	えひめ中小企業応援ファンド(地域活力創出産業育成事業)		
28	高知県	こうち産業振興基金	公益財団法人 高知県産業振興センター	088-845-6600

九州・沖縄

	都道府県名	ファンド名称	ファンド運営管理者	電話番号
29	長崎県	ナガサキ地域未来投資促進ファンド	公益財団法人 長崎県産業振興財団	0957-52-1138
30	長崎県	長崎県農商工連携ファンド	長崎県商工会連合会	095-824-5413
31	大分県	おおいた中小企業活力創出基金	公益財団法人 大分県産業創造機構	097-537-2424

問合せ先 公益財団法人 北海道中小企業総合支援センター

TEL 011-232-2001

FAX 011-232-2011

HP <https://www.hsc.or.jp/>

MAIL  (お問い合わせフォーム)

特徴

豊かな自然や高い食料供給力など地域が持つ多様な資源を最大限に活用し、価値を創造する道内企業の育成向上を図るため、国や道内経済界との協力のもと支援ファンドを組成し、道内における新たな事業化への取組を加速させることにより、地域産業力を底上げし力強い北海道経済の実現を目指します。

—支援重点分野—

- (1)創業支援 (2)地域資源を活用した地域産業 (3)地域経済を牽引するものづくり産業

—支援対象分野—

(1)創業を支援

創業促進支援事業

道内に主たる事務所を設けて、助成金交付決定後1年以内に創業する予定の個人・中小企業者(前年度又は該当年度にすでに創業している者を含む。)

助成上限 助成期間 助成率

1,000千円以内 1年以内 1/2以内

(2)地域資源を活用した新事業展開を支援

地域資源活用型事業化実現事業

道内に主たる事業所を有する中小企業者等で、地域資源の活用、又は農工商連携による新製品や新サービスの事業化実現に向けて取り組む者

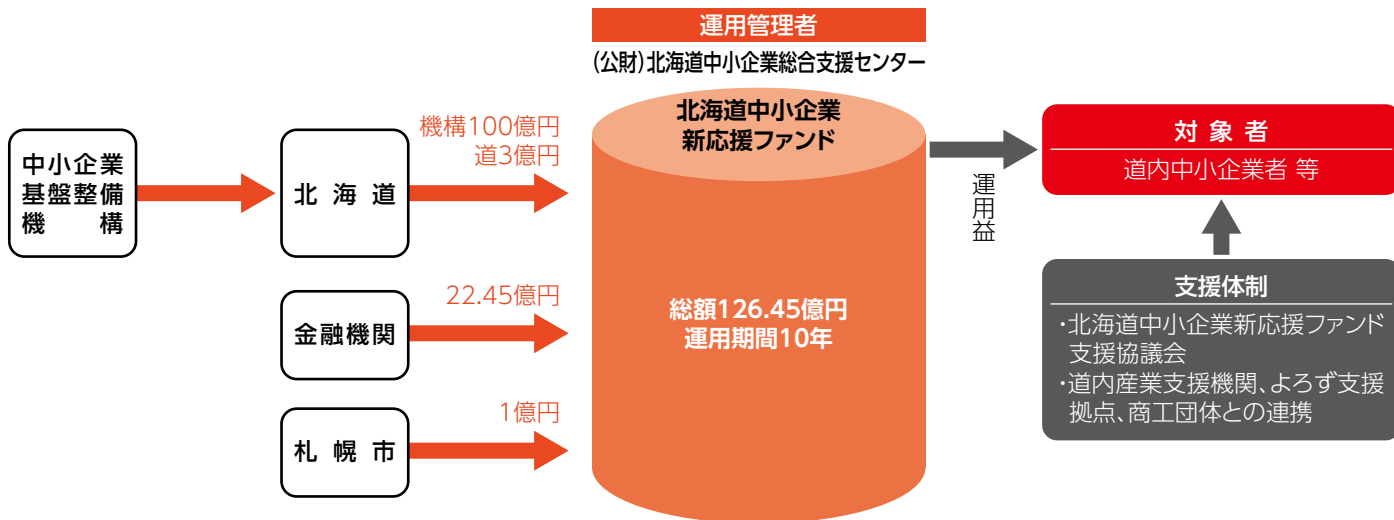
1,500千円以内 1年以内 1/2以内

(3)製品開発の初期段階を支援

製品開発チャレンジ支援事業

道内に主たる事務所を有する中小企業者等で、新製品の本格開発着手前の構想の実現に向けて、事前検証・検査・分析を行う者

500千円以内 1年以内 1/2以内



これまでの助成事例

株式会社ciokay

助成事業テーマ

子どもの想いから生まれた町の花「ハマナス」を活用したオーガニックコスメ販路拡大事業

主な助成対象経費

原材料費、外注加工費、デザイン開発費、機械装置等購入費、設立登記費、広告宣伝費等

事業概要

浦幌町において栽培されたハマナスを主原料に、トドマツなどの北海道産の天然由来成分を配合したオーガニックスキンケアブランド「rosa rugosa」(5種類)の商品を開発し、事業を開始しました。



Fu's room

助成事業テーマ

士別市サフォークめん羊の羊皮を活用した皮革の開発・販路開拓

主な助成対象経費

原材料費、治具・工具費、外注加工費、機械装置等購入費、出展料、展示工事費等

事業概要

士別市の特産であるサフォーク羊の食肉加工後に廃棄されていた羊皮をなめし加工し、クラフト資材となるサフォーク革を開発するとともに、その革を使用したレザーアイテムを企画・製作し、販路の開拓を目指しました。



問合せ先 公益財団法人 いわて産業振興センター

TEL 019-631-3823

FAX 019-631-3830

HP <http://www.joho-iwate.or.jp/>

MAIL joho@joho-iwate.or.jp

特徴

本県経済の基盤となる地域産業の事業者等が、社会経済環境の変化に的確に対応し、新たな事業分野の開拓や新商品の開発など経営力の向上に取り組むとともに、創業が促進されることにより、地域産業の持続的発展を図ることを目的とします。

一支援重点分野一

- (1)創業の支援(優遇措置:若者・女性、U・Iターン者) (2)新しい事業活動の支援(優遇措置:若者・女性、地域資源活用、経営革新、連携体)
- (3)商店街活性化やまちづくりの支援(優遇措置:若者・女性、東日本大震災津波の被災地に所在する者)

一支援対象分野一

(1)創業支援

創業支援の一層の強化を図るため、創業者が取り組む新たな商品・サービスの開発等の取組を支援する。

助成対象:①~④にかかる経費

- ①事業実施のために必要な市場調査・動向調査事業
- ②新商品・新技術・新役務の開発研究又は事業化に関する取組事業
- ③販路開拓のために行う事業
- ④経営・技術に関する研究等の人材養成のために行う事業

助成上限

助成期間

助成率

1,500千円以内

2年以内

1/2以内

優遇 代表者が若者女性または代表者がUターン者

1,500千円以内

2年以内

2/3以内

(2)新事業活動支援

中小企業者の持続的な発展を図るため、社会経済環境の変化に的確に対応した新分野への進出、地域資源を活用した新商品の開発など新たな事業活動に係る取組を支援する。

助成対象:①~④にかかる経費

- ①事業実施のために必要な市場調査・動向調査事業
- ②新商品・新技術・新役務の開発研究又は事業化に関する取組事業
- ③販路開拓のために行う事業
- ④経営・技術に関する研究等の人材養成のために行う事業

2,000千円以内

3年以内
(創業支援の助成期間含む)

1/2以内

優遇 代表者が若者女性または地域資源活用事業

2,000千円以内

3年以内
(創業支援の助成期間含む)

2/3以内

優遇 経営革新計画承認事業または2者以上の連携体

3,000千円以内

3年以内
(創業支援の助成期間含む)

3/4以内

(3)商店街等活性化支援

商店街のにぎわい創出や魅力創造をはじめとする商店街活性化や社会経済環境の変化に伴う住民ニーズへの対応やソーシャルビジネス等に向けて取り組む商工団体及び商店街組織等の取組を支援する。

助成対象:①~④にかかる経費

- ①市場・動向調査
- ②新商品・新役務の開発又は事業化に関する事業
- ③販路促進・販売力強化のために行う事業
- ④業種構成再編、遊休資産利活用に関する事業

1,000千円以内

3年以内

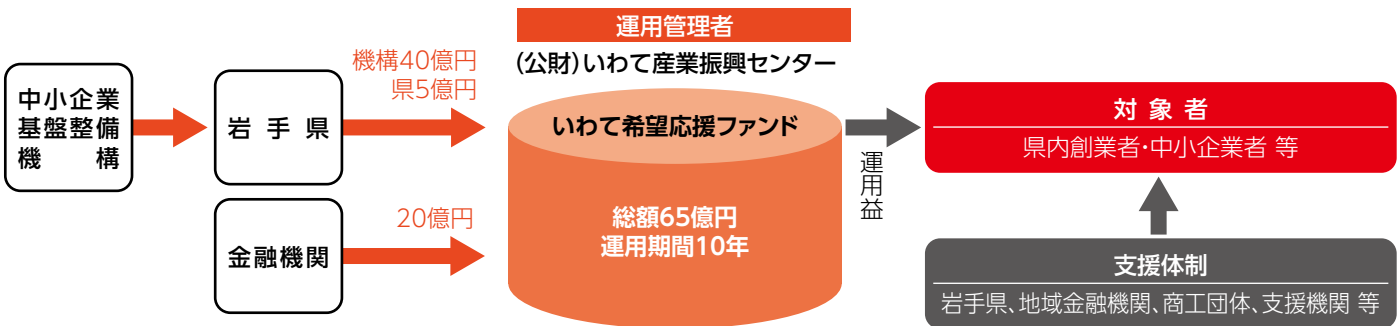
1/2以内

優遇 若者女性を主体とする者または東日本大震災津波の被災地に所在する者

1,000千円以内

3年以内

2/3以内



これまでの助成事例

久慈琥珀株式会社

助成事業テーマ 新素材リファインドアンバーを活用し、世界的ブランドへの展開を図る事業

主な助成対象経費 市場調査・動向等調査費用、新商品開発費

事業概要

岩手大学との共同研究で開発した精製琥珀を活用した商品群の充実を図るため琥珀100%のグラスを開発したほか、ブランドツールと連動したプロモーションビデオ等の制作を行いました。



株式会社ひろの屋

助成事業テーマ 洋野町産北紫ウニの鮮度向上加工法の確立及び新たな販路開拓に伴うブランド化の推進

主な助成対象経費 新商品開発費、販路開拓費

事業概要

県内随一の水揚げを誇る洋野町産の北紫ウニのブランド化を図るため新商品開発を行ったほか、塩ウニのパッケージを一新し、プロモーションのためのホームページ等製作を行いました。



いわて希望応援ファンド(農商工連携型)

問合せ先 公益財団法人 いわて産業振興センター

TEL 019-631-3823

FAX 019-631-3830

HP <http://www.joho-iwate.or.jp/>

MAIL joho@joho-iwate.or.jp

特徴

本県経済の基盤となる地域産業の事業者等が、社会経済環境の変化に的確に対応し、新たな事業分野の開拓や新商品の開発など経営力の向上に取り組むとともに、創業が促進されることにより、地域産業の持続的発展を図ることを目的とする。
 ※「いわて希望応援ファンド(農商工連携型)」は「いわて希望応援ファンド(地域中小企業応援ファンド)」と一体的な運用を行っている。

一支援重点分野一

中小企業者等と農林漁業者の連携による、新しい事業活動及び販路開拓の支援

一支援対象分野一

助成上限 助成期間 助成率

300万円 3年以内 3/4以内

【新事業活動支援】

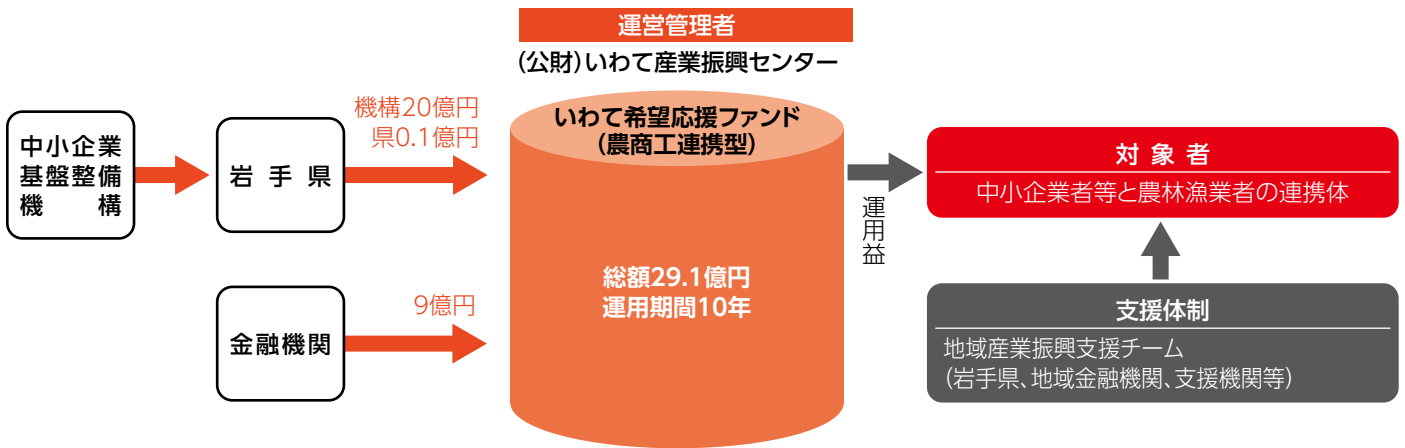
農林漁業者及びその連携体の持続的な発展を図るため、社会経済環境の変化に的確に対応した新分野への進出、地域資源を活用した新商品の開発など新たな事業活動に係る取組を支援する。

【助成対象】①～②に掲げるもの

- ① 県内に事業所を有し、経営の革新を行おうとする中小企業者と農林漁業者の連携体
- ② 中小企業者以外で経営の革新を行おうとする県内特定非営利活動法人等と農林漁業者の連携体

【助成事業】

- ① 市場調査・動向調査
- ② 新商品・新技術・新役務の開発研究又は事業化に関する取組
- ③ 販路開拓
- ④ 人材育成
- ⑤ その他知事が必要と認める事業



これまでの助成事例

株式会社砂田屋(連携者:キートスファーム株式会社)

助成事業テーマ 岩手の魅力ある食材をお菓子を通して県内のみならず全国の消費者へアピールする

主な助成対象経費 新商品開発費・販路開拓費

事業概要

天然食材の米粉と岩泉ヨーグルト・岩泉町産のりんごを材料に菓子作りを行い、それぞれの食材に付加価値を生み生産者の収入増加につながり、更には素材そのものとしての注目度を高め消費拡大につなげていく事業。



白石食品工業株式会社(連携者:岩手中央農業協同組合)

助成事業テーマ 岩手県産小麦100%の高付加価値パン開発と首都圏でも通用するブランド化戦略

主な助成対象経費 市場調査・動向等調査費用・新商品開発費・販路開拓費

事業概要

岩手ならではの小麦品種の特徴を活かした「岩手県産100%」で、安心かつ他に真似られないパンの商品化を行い、地産・地消を出発点と全国で通用するブランドを構築する事業。



問合せ先 公益財団法人 みやぎ産業振興機構

TEL 022-225-6697

FAX 022-263-6923

HP <https://www.joho-miyagi.or.jp/>

MAIL soudan@joho-miyagi.or.jp

特徴

「宮城県中小企業・小規模事業者振興基本計画」の重要な施策である「経営の革新等」「地域資源の活用等」を実現する取組(事業)として、地域資源及び優れたビジネスアイデアを活用した新商品・新サービス開発のための研究開発等を重点支援します。
 なお、事業承継を伴い申請される方は、優先して採択(交付決定)します。

—支援重点分野—

地域資源、優れたビジネスアイデアを活用した新商品、サービスの研究開発

—支援対象分野—

新商品・サービス開発を行うための、以下経費について助成する。

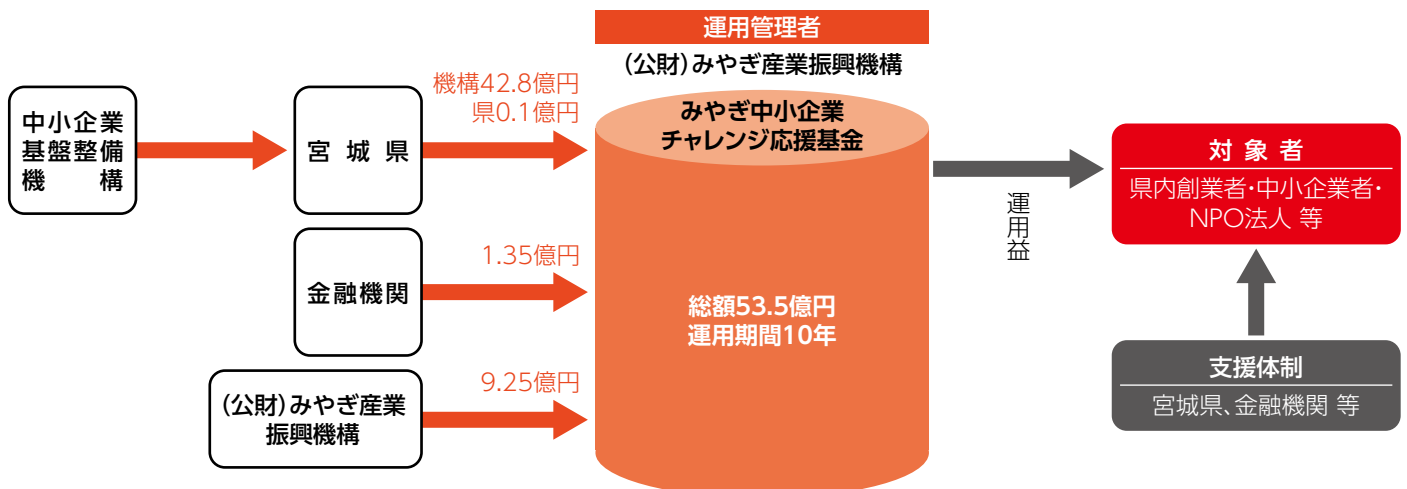
助成経費：研究開発費(原材料費、機械装置又は工具器具費、外注加工費、試作費、実験費等)
 委託費(ホームページ作成費、デザイン料、通訳・翻訳料、事業可能性調査費)
 事務費(印刷製本費、資料購入費、通信運搬費、借料・損料、展示会出展小間代等)

助成上限 助成期間 助成率

2,000千円 1年以内 1/2以内

〈その他特記事項〉

- 低金利環境下において、通常の公債より条件の良い社債による運用を実施。
- 以下の具体的かつ難易度の高いKPIを設定しPDCAを実施。
 - ・短期目標
助成企業のうち3年以内に50%以上の企業が事業化を達成
 - ・長期目標
事業化を達成した助成企業の付加価値(営業利益、人件費及び減価償却費の合計)又は1人あたりの付加価値が5年以内に15%以上増加すること。



これまでの助成事例

株式会社セッションナブル

助成事業テーマ 南三陸杉と気仙大工技術を活かした
世界初のギター生産による地方創生型ビジネス

主な助成対象経費 新商品開発費 等

事業概要

エレクトリックギター市場へ新規参入するため、所有自体に価値観を見いだす新たなユーザー層へこれまでとは全く違う設計、素材、デザインを取り入れた新製品を開発しました。ボディとネックの結合には岩手県気仙地方に受け継がれる宮大工の伝統技術を活用し、パーツの一部には東北大学金属材料研究所が開発した新金属を利用しています。



有限会社テクノ・キャスト

助成事業テーマ 手術支援ロボットトレーニング用
腫瘍付腎臓モデルの開発

主な助成対象経費 新商品開発費 等

事業概要

順天堂大学泌尿器科の教授からの相談がきっかけとなり、腎部分除去の手術練習トレーニング用モデルを開発しました。開発にあたっては医療現場の実態に沿った、より適切な練習モデルであることを念頭に他社製品との差別化を図り、金型製作に関して宮城県産業技術総合センターと連携しています。



問合せ先 公益財団法人 あきた企業活性化センター

TEL 018-860-5702

FAX 018-860-5612

HP <http://www.bic-akita.or.jp/index.html>

MAIL setsubi-ken@bic-akita.or.jp

特徴

県内企業の付加価値の向上を通じて県経済の活性化や雇用の場の創出を図るため、ファンドをリニューアルし、新商品開発、新技術開発等の経営革新の取り組みを支援します。

一支援重点分野一

- (1)競争力強化による航空機産業・自動車産業の成長促進
- (2)地域資源を活用した新エネルギー関連産業の振興
- (3)産学官連携による医療福祉関連産業の育成
- (4)大規模市場に参入する情報関連産業の振興

一支援対象分野一

助成上限

助成期間

助成率

【連携研究開発助成事業】

県内で、新商品・新サービス・新技術等の開発を、大学・公設試等と連携して共同研究に要する経費の一部を助成します。(高度技術又は新製品の開発、高度技術を利用した製品の高付加価値化等)

- (1)高度技術産業集積地域型(秋田市)に主たる事務所を有する中小企業者等を対象

3,000千円以内

1年以内

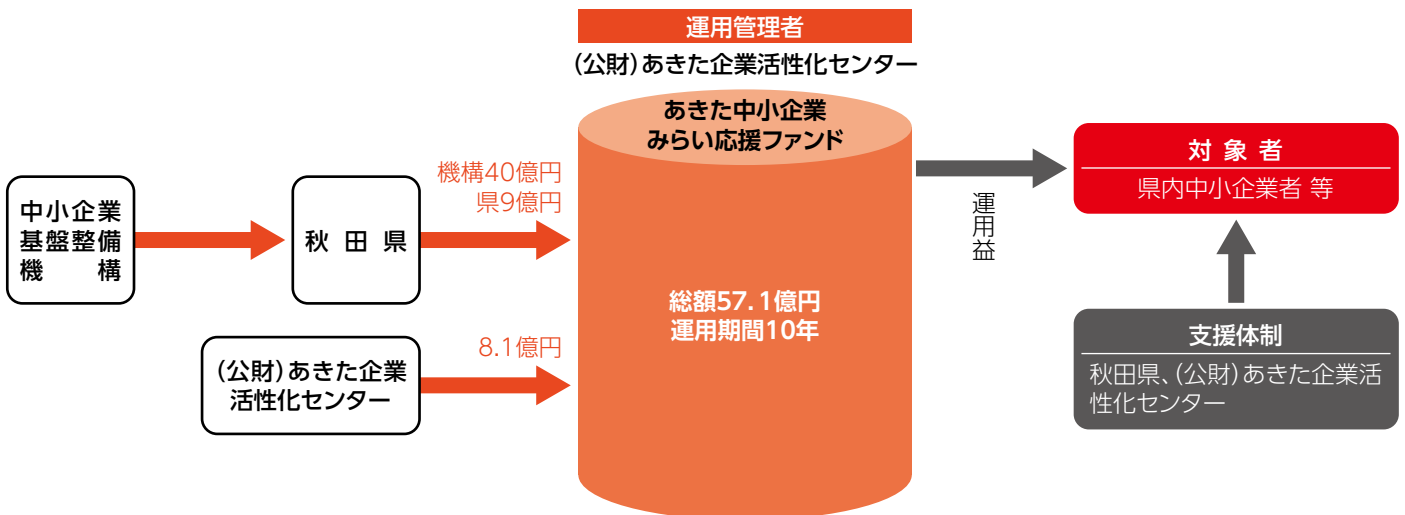
3/4以内

- (2)一般地域型(秋田市以外)に主たる事務所を有する中小企業者等を対象

2,500千円以内

1年以内

2/3以内



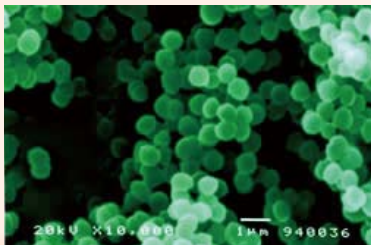
これまでの助成事例

株式会社秋田今野商店

- 助成事業名 共同研究助成事業(一般地域型)
- 助成事業テーマ 乳酸菌等の微生物を用いた健康・長寿社会に向けた県産ブランド食品の研究開発
- 主な助成対象経費 機械装置費、技術導入費など

事業概要

種麹、酵母菌等の製造販売を行う同社は、秋田大学との共同研究により県内発酵食品や自然界から多数の乳酸菌を分離することに成功。本事業で得られたデータから、ナノ型乳酸菌の標準化や自社での生産活動を開始しました。



株式会社かおる堂

- 助成事業名 共同研究助成事業(高度技術産業集積地域型)
- 助成事業テーマ 骨の健康のためのビタミンD入りまんじゅうの開発
- 主な助成対象経費 原材料費、技術導入費など

事業概要

秋田大学大学院との共同研究により、骨粗しょう症を予防するためにビタミンDやカルシウムを多く含有した饅頭を開発。『大学病院の先生が考えたサブリ饅頭』として現在、かおる堂直営店や秋田大学医学部付属病院の売店などで販売されています。



問合せ先 公益財団法人 あきた企業活性化センター

TEL 018-860-5702

FAX 018-860-2390

HP <http://www.bic-akita.or.jp/>

MAIL setsubi-ken@bic-akita.or.jp

特徴

小規模事業者が多い本県において、県内の中小事業者と農林漁業者が連携して取り組む商品開発や販路開拓等を支援し、事業者の育成や食品産業の振興を図ることを目的とする。県が開発した品種や独自技術を活用した商品開発については補助率を優遇し支援する。

— 支援重点分野 —

- (1) 県産農林水産物を原料とする、新商品又は新サービスの開発、販路開拓
- (2) 連携体等による新たな事業展開を支援する事業(展示会、講習会、指導助言等)

— 支援対象分野 —

【農工商連携支援事業】
・地域資源の活用による新商品開発
・開発した新商品の販路開拓

助成対象：①～③にかかる経費
① 新商品又は新サービスの開発
② 販路開拓やプロモーション活動に要する経費
③ 農林水産物のブランド化・単価向上を目的とした取組に係る経費

助成上限 助成期間 助成率

1,000千円 2年以内 1/2以内

※開発商品の販路が確定している場合等

2年目500千円 2年以内 2/3以内

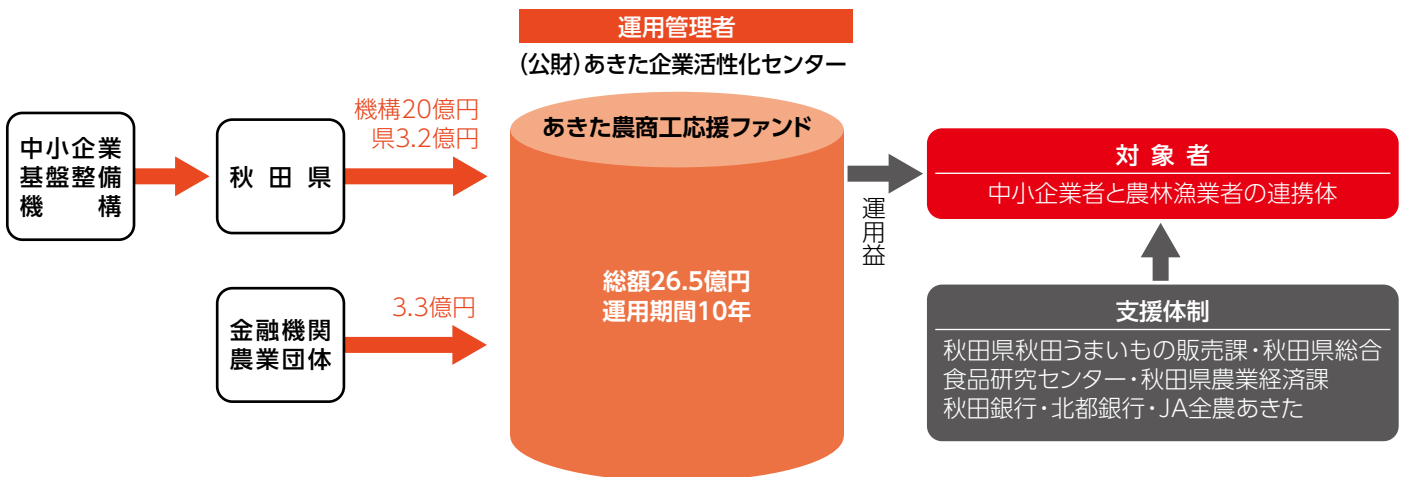
【農工商連携応援団体支援事業】
・地域資源の活用による新商品開発

助成対象：①～③にかかる経費
① 新商品又は新サービスの開発
② 販路開拓やプロモーション活動に要する経費
③ 農林水産物のブランド化・単価向上を目的とした取組に係る経費

1,000千円 2年以内 2/3以内

※開発商品の販路が確定している場合等

2年目500千円 2年以内 10/10以内



これまでの助成事例

株式会社大潟村あきたこまち生産者協会

助成事業テーマ 県産米を原料としたグルテンフリー食品等の開発と販路開拓

主な助成対象経費 商品開発費、市場動向調査費

事業概要

原料米の「ちほみのり」の安定生産技術を確認し、ラーメンやパスタ等のグルテンフリー食品を開発しました。海外向けに積極的な販路開拓を行った結果、米国等に輸出量が増加しています。



株式会社飛良泉本舗

助成事業テーマ 地元産の酒米と新酵母を活用した商品開発と販路開拓

主な助成対象経費 商品開発費、市場動向調査費

事業概要

地元産の酒米と自社オリジナル酵母を使い、山麴仕込みでクリアに醸した「飛嶺(ひてん)一銀(SHIROGANE)」を商品化しました。温度によるバリエーション豊富な味幅が楽しめるお酒で、若い世代をターゲットにしたモダンで手に取りやすいデザインにしたところ販売が好調で、今後仕込み量を増加する計画です。



問合せ先 公益財団法人 福島県産業振興センター

TEL 024-525-4070

FAX 024-525-4079

HP <http://www.utsukushima.net/fund/ouen.htm>

MAIL soumu@f-open.or.jp

特徴

震災からの復興と新たな時代を担う産業の創出による「新生ふくしま」の実現をめざし、県内の中小企業による成長産業への新規参入や新たな取組への挑戦を促進するため、中小企業における技術開発、市場調査・事業可能性に対する経費の一部を助成し、下請型から開発型・提案型企業への転換を支援します。

— 支援重点分野 —

- (1) 開発型・提案型企業への転換支援
- (2) 産業支援機関が行う中小企業育成支援事業

— 支援対象分野 —

【製品開発・事業化推進経費助成事業（事業可能性等調査事業/技術開発事業）】

県内中小企業が新製品開発サイクルを着実に実行し、開発型企業への転換を図れるよう、市場調査・事業可能性調査及び開発並びに販路開拓に係る経費の一部を助成する。

(1) 事業可能性調査事業

助成経費：新技術・新商品開発に向けた旅費、調査・分析費 など

助成上限 1,000千円 助成期間 1年以内 助成率 1/2以内

(2) 技術開発事業

助成経費：原材料費、機械装置・工具器具費、外注加工費、技術指導費 など

助成上限 3,000千円 助成期間 1年以内 助成率 1/2以内

(3) 販路開拓事業

助成経費：展示会出展等の販路開拓費用 など

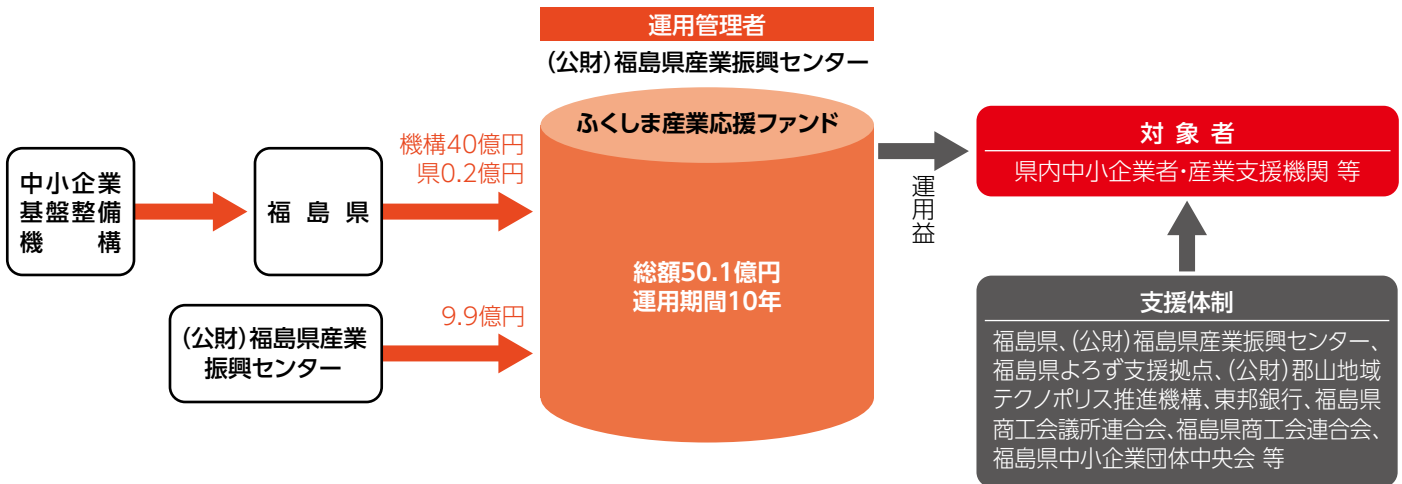
【中小企業育成支援事業】

開発型・提案型企業への転換に取り組む中小企業等の支援や、研究会・協議会等を通じた開発型企業への転換の促進を図るセミナー等の開催に係る経費を助成する。

(3) 中小企業育成支援枠

助成経費：講師謝金・旅費、事務経費 など

助成上限 1,000千円 助成期間 1年以内 助成率 1/1以内



これまでの助成事例

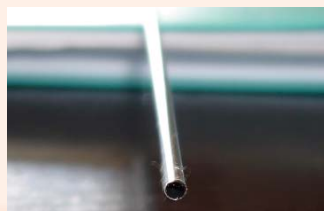
有限会社エスク

助成事業テーマ 冠動脈ステント用Co-Cr合金チューブの製造技術研究開発と量産化

主な助成対象経費 原材料費、機械装置費

事業概要

当社独自の薄肉パイプ製造技術で、医療機器メーカーが求める高精度の合金チューブを、低コストで製造する技術の開発。



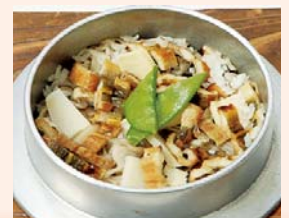
株式会社丸福織物

助成事業テーマ 機能性米・米粉・具材を活用し食味を向上させた糖カロリーコントロール可能な食制限者向け食品の開発(釜飯弁当、米粉バウムクーヘン)

主な助成対象経費 技術指導費、機械装置費

事業概要

県産LGC米を利用した食制限者向け釜飯の開発。アレルギー物質(小麦、卵、牛乳)を使用しないバウムクーヘンの開発。



問合せ先 公益財団法人 いばらき中小企業グローバル推進機構

TEL 029-224-5317

FAX 029-227-2586

HP <http://www.iis-net.or.jp/>

MAIL info@iis-net.or.jp

特徴

人口の減少や第4次産業革命の進歩、経済のグローバル化など社会の変化に対応し、本県の産業を継続的に発展させるため、最先端の科学技術やものづくり産業が集積する茨城県の強みを最大限に活かし、新技術・新製品開発や新たな市場の獲得に向けた販路開拓等の中小企業の新たなチャレンジを促進します。

— 支援重点分野 —

- (1) 新技術・新製品開発、又は、それらを活用した新サービスの開発
- (2) 海外等の新たな成長市場の獲得

— 支援対象分野 —

(1) 新技術・新製品開発促進事業

新技術・新製品の開発、又は、それらを活用した新サービスの開発

対象者：県内に主たる事業所を有する中小企業者

助成経費：技術導入費、知的財産権関連経費、調査・分析外注費、原材料費、備品購入費など

助成上限

助成期間

助成率

5,000千円

2年以内

2/3以内

※単年度で終了する短期間の研究開発

2,500千円

1年以内

2/3以内

(2) 販路開拓促進事業

展示会出展を核とする販路開拓

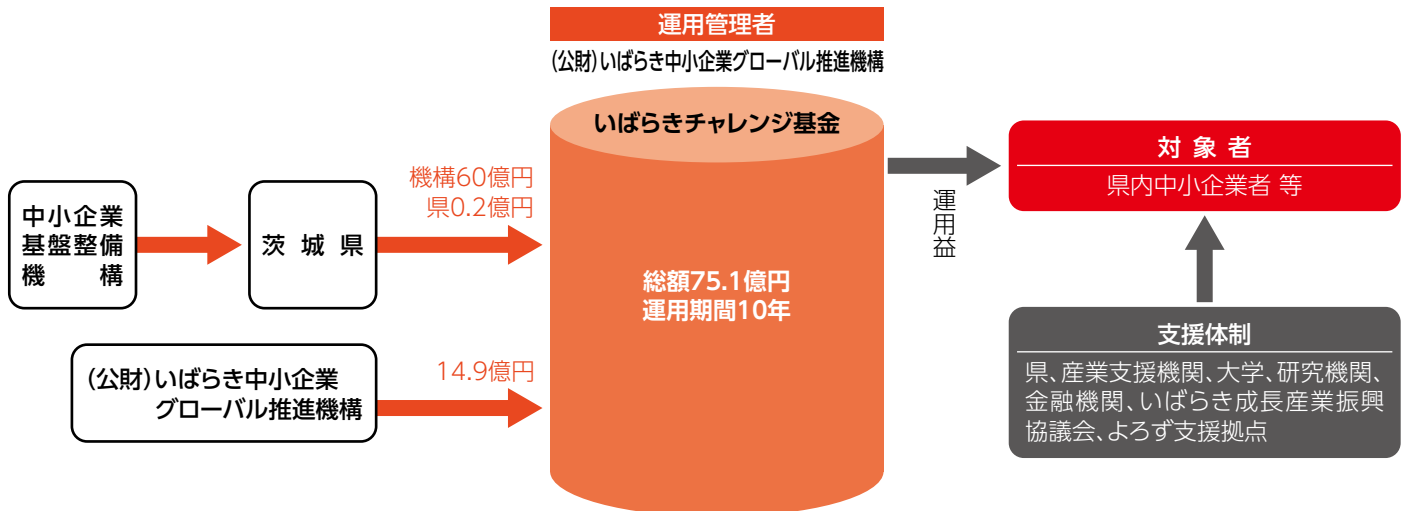
対象者：県内に主たる事業所を有する中小企業者

助成経費：展示会出展等の販路開拓費用など

1,000千円

1年以内

2/3以内



これまでの助成事例

有限会社トーコーフーズ

- 助成事業名 地域資源活用プログラム
- 助成事業テーマ 黒大豆と黒大豆に適した納豆菌を利用した黒大豆納豆の開発
- 主な助成対象経費 外注加工費、機械装置購入費、印刷製本費

事業概要

原料に地域資源の「黒小粒大豆」を使用し、茨城県産業技術イノベーションセンターが研究・発掘した納豆菌を用いて、黒大豆納豆を開発しました。百貨店・インターネットを活用して販売を行っています。



金澤工業株式会社

- 助成事業名 ものづくり応援プログラム
- 助成事業テーマ コンビニ向けおでん用高出力ヒーターの開発
- 主な助成対象経費 材料費、外注加工費、調査分析外注費

事業概要

温度制御プログラムの開発、高出力化電気回路設計の開発により、従来のヒーターと比較し、高出力なコンビニ向けおでん用ヒーターが完成しました。開発製品はコンビニ各社に採用されています。



問合せ先 公益財団法人 栃木県産業振興センター

TEL 028-670-2601

FAX 028-670-2611

HP <http://www.tochigi-iin.or.jp/index/3/2/>

MAIL monozukuri@tochigi-iin.or.jp

特徴

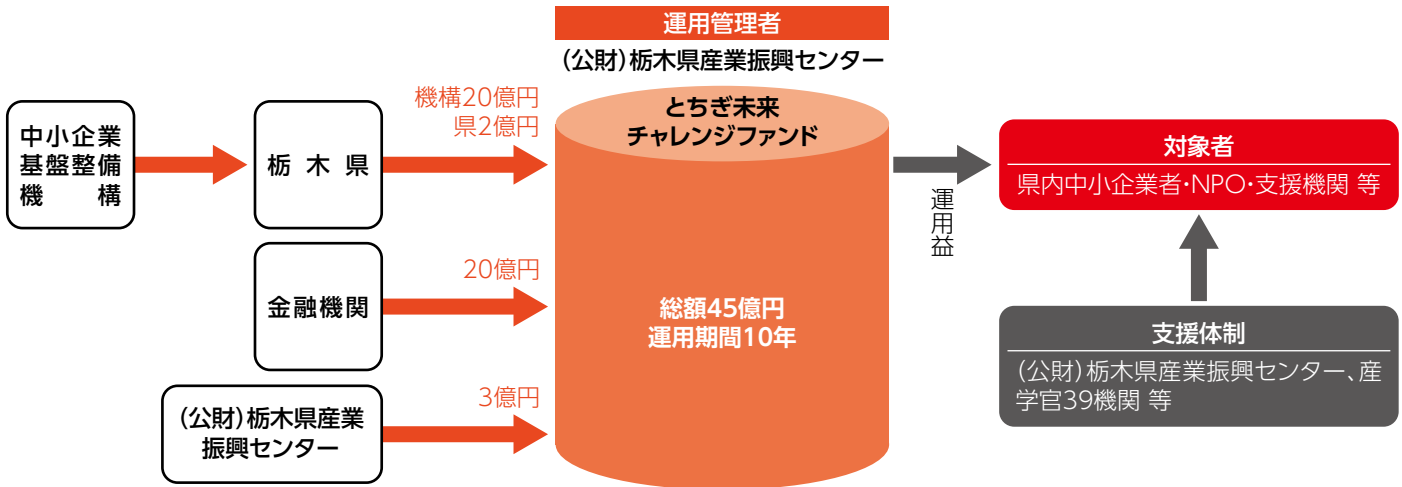
「とちぎ産業成長戦略」で目指す本県産業の力強い成長と発展に向け、産学官金が一体となって、創業を支援するとともに、重点的な支援を行う特定振興産業分野及び成長産業分野の振興を促進し、県内中小企業の底上げと県内経済の活性化を図ります。

—支援重点分野—

- (1)創業分野
地域に密着した中小企業者等の創業を支援
- (2)特定新興産業分野及び成長産業分野
栃木県内に集積が進んでおり、さらなる成長や波及効果が見込まれる自動車産業・航空宇宙産業・医療機器産業・光産業などの特定産業分野、今後の成長が見込まれる食品・ヘルスケア・ロボット関連産業分野の振興を支援

—支援対象分野—

- | 支援対象分野 | 助成上限 | 助成期間 | 助成率 |
|---|---------|------|-------|
| (1)創業支援事業
地域密着型ビジネスによる創業や創業塾修了者の創業等を支援 | 1,000千円 | 1年以内 | 2/3以内 |
| (2)技術高度化助成事業
技術高度化、新技術、新役務の開発を支援(最大2年間) | 3,000千円 | 1年以内 | 2/3以内 |
| (3)販路開拓助成事業
販路開拓のための展示会への出展及び品質マネジメントシステム認証取得を支援 | 1,000千円 | 1年以内 | 2/3以内 |



これまでの助成事例

有限会社スペクトルデザイン

- 助成事業名 技術高度化助成事業
- 助成事業テーマ 光パルスエコーを用いた建造物の劣化診断装置の開発
- 主な助成対象経費 原材料費

事業概要

非破壊検査装置を構成する光センサー部と本体部をモジュール化し、各モジュールを光ファイバーで結ぶことで、調整箇所を大幅に低減し操作性の向上を図ると同時に、装置の小型化を実施。さらに計測時間の短縮化を実現するための鍵となる機械式高速走査機構を独自に開発しました。



株式会社島崎酒造

- 助成事業名 販路開拓助成事業
- 助成事業テーマ 2018台北国際食品見本市出展による大吟醸長期熟成古酒の台湾市場販路開拓
- 主な助成対象経費 専門家謝金、専門家旅費、広告宣伝費等

事業概要

日本酒の新しいジャンルとして注目が高まる長期熟成日本酒の海外展開を図るため、台湾のマーケット構築を目指し、事前の市場調査、テストマーケティングの実施により戦略を協議した上で、展示会に出展しました。



問合せ先 公益財団法人 栃木県産業振興センター

TEL 028-670-2608

FAX 028-670-2611

HP <http://www.tochigi-iin.or.jp/index/3/1/>

MAIL shinsangyou@tochigi-iin.or.jp

特徴

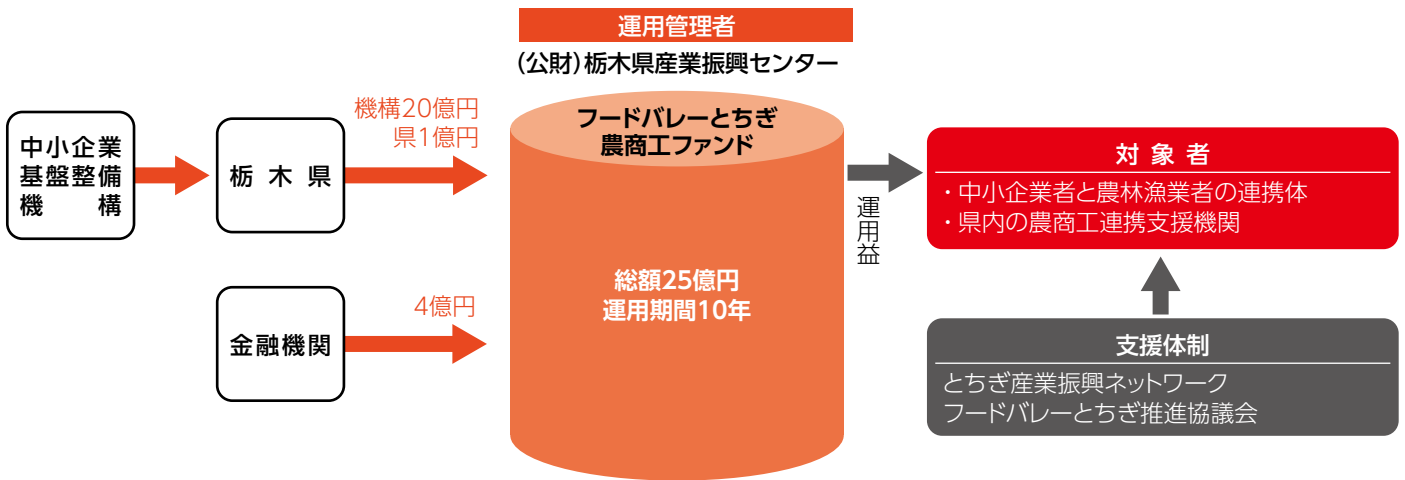
“食”をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる“フードバレーとちぎ”を目指して、「フードバレーとちぎ推進協議会」を中心に産学官等の連携による取組を推進し、第1次産業から第3次産業まで幅広い“食”に関連する産業の振興を図る。

一支援重点分野一

中小企業者等と農林漁業者との連携体が行う「県産農産物等を活用した新商品開発」や「創業」、「販路開拓」のための様々な取組に対し、各種助成金を交付します。

一支援対象分野一

	助成対象経費	助成上限	助成期間	助成率
【新商品等開発支援事業】	県産農産物等活用による新商品・新役務の研究開発費用	500万円	1年以内	4/5以内
【創業支援事業】	県産農産物等の活用による新商品等の開発・販路開拓を目指した創業に係る費用	200万円	1年以内	4/5以内
【販路開拓支援事業】	県産農産物等の活用により開発した新商品・新役務の販路開拓費用	500万円	1年以内	4/5以内
【技術高度化支援事業】	県産農産物等の生産・加工に必要な機械、システム等の研究開発費用	1,000万円	2年以内	4/5以内
【農商工連携支援機関助成事業】	県内の中小企業者と農林漁業者との連携体が行う取組を支援するために実施する事業に要する費用	200万円	1年以内	定額



これまでの助成事例

有限会社大滝／クーリ ルージュ

- 助成事業名 新商品等開発支援事業
- 助成事業テーマ 栃木県産プレミアムヤシオマスの未活用部位を用いた新商品の試作開発
- 主な助成対象経費 機械装置借用、検査分析費、デザイン費

事業概要

プレミアムヤシオマスの未活用部位を用いて、肋骨部分に付着した肉を骨と共に焼成し骨ごと食べられる「骨せんべい」、中落ち部分を活用した「麴漬け」「粕漬け」といった新商品の試作開発を行いました。



米山そば工業株式会社／渡辺 茂

- 助成事業名 販路開拓支援事業
- 助成事業テーマ 栃木県産ブランドそば(早刈り花そば®)使用の開発商品の販路開拓
- 主な助成対象経費 出展料、会場設営費、広告宣伝費

事業概要

畑の生産風景から、引き立ての自家製粉のPR等の独自プレゼンでの新規顧客開拓をコンセプトに、生産者の顔が見える媒体の作成、デモ用小型・独自石臼による挽き立ての製粉実演等、効果的な戦略を検討し、業務用食材展示会である「FABEX2019」に出展しました。



問合せ先 公益財団法人 千葉県産業振興センター

TEL 043-299-2901

FAX 043-299-3411

HP <https://www.ccjc-net.or.jp/>

MAIL info@ccjc-net.or.jp

特徴

「ちば中小企業元気づくり基金」により、新商品開発・研究開発支援を中心とした中小企業の経営革新を促進させ、ちば中小企業元気戦略の視点の一つである、成長分野・新分野への参入による中小企業の成長を後押し、県内経済の高付加価値化の実現を促進します。

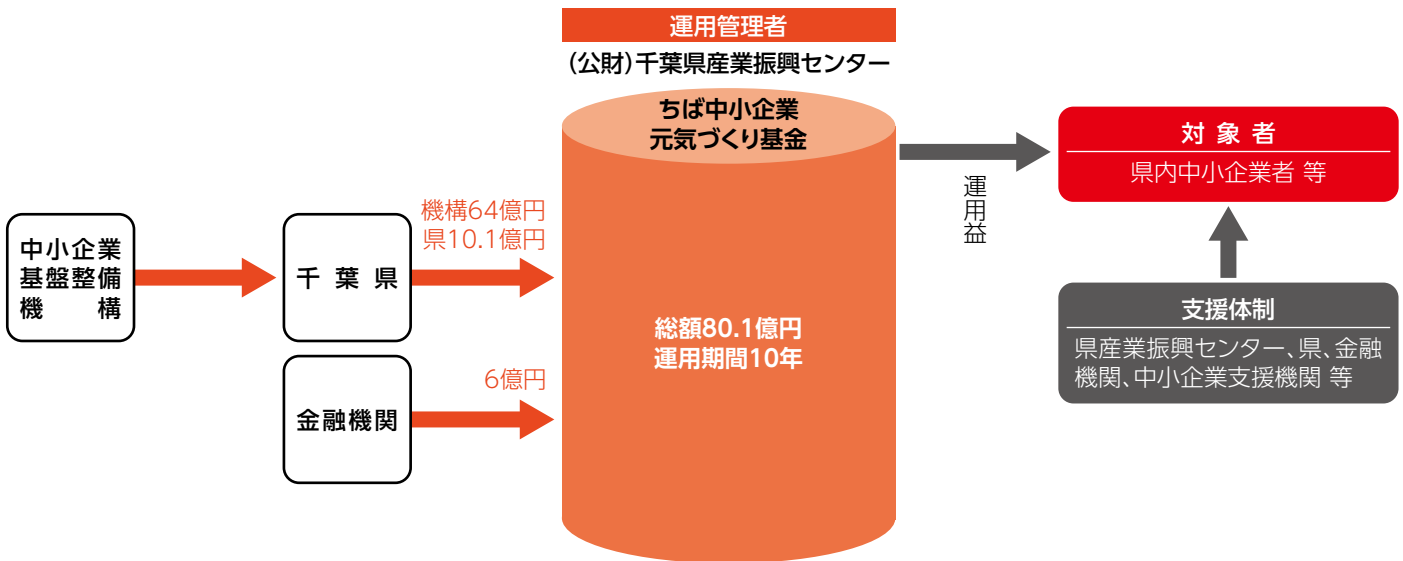
— 支援重点分野 —

- (1) 新商品・新技術開発助成
- (2) 高度・成長分野研究開発助成
- (3) 地域資源活用開発助成

— 支援対象分野 —

- (1) 新商品・新技術開発助成
製品の付加価値化、新規事業の展開等を図るための新製品・新技術開発等を支援する。
- (2) 高度・成長分野の研究開発助成
第四次産業革命等も踏まえ、大学や公的研究機関と共同で行う高度な新商品開発等、成長分野における新商品開発等を支援する。
- (3) 地域資源活用開発助成
地域資源を活用した新商品開発等を支援する。

助成上限	助成期間	助成率
5,000千円	3年以内	2/3以内
2,500千円	1年以内	1/2以内
1,000千円	1年以内	1/2以内



これまでの助成事例

エヌティーダブリュー株式会社

- 助成事業名 新商品・新技術・特産品等開発助成事業
- 助成事業テーマ 汚型高可倒復元性道路車線分離標の開発
- 主な助成対象経費 原材料・消耗品、外注加工費等

事業概要

反射材表面に光触媒コーティングを施し防汚性能を持たせ、本体ボールの断面形状を特殊六角断面とすることで、車両の衝突や踏付けから本体表面を守る性能を実現し、汚れにくく、耐久性に優れた車線分離標を開発しました。



浦安商工会議所

- 助成事業名 地域プロデュース支援事業
- 助成事業テーマ 「浦安の絆」浦安の塩商品化事業
- 主な助成対象経費 原材料・消耗品、委託費、広報費等

事業概要

「浦安の絆」ブランド第3弾として、かつては浦安でも作られていた塩の商品開発を行い、東京湾で唯一の塩「龍宮のおくりもの」として商品化しました。



問合せ先 公益財団法人 千葉県産業振興センター

TEL 043-299-2901

FAX 043-299-3411

HP <https://www.ccjc-net.or.jp/>

MAIL info@ccjc-net.or.jp

特徴

千葉県の地域経済の基盤である農林水産業と中小企業等との連携(農商工等連携)を促進し、それぞれの強みを活かした連携体を支援することで、相乗効果を発揮し、地域経済の活性化を図る。

—支援重点分野—

千葉県産農林水産物を活用した新商品・新役務の開発
 千葉県の豊かな農林水産物等の資源を活用し、中小企業者等と農林漁業者とが連携して行う新商品や新役務の開発を支援する。

—支援対象分野—

新商品・新役務開発等助成事業

助成対象:①～④にかかる経費

- ①原材料・消耗品費
- ②機械装置費、外注加工費
- ③専門家謝金・旅費
- ④委託費、事務費、賃金(アルバイト等)

助成上限

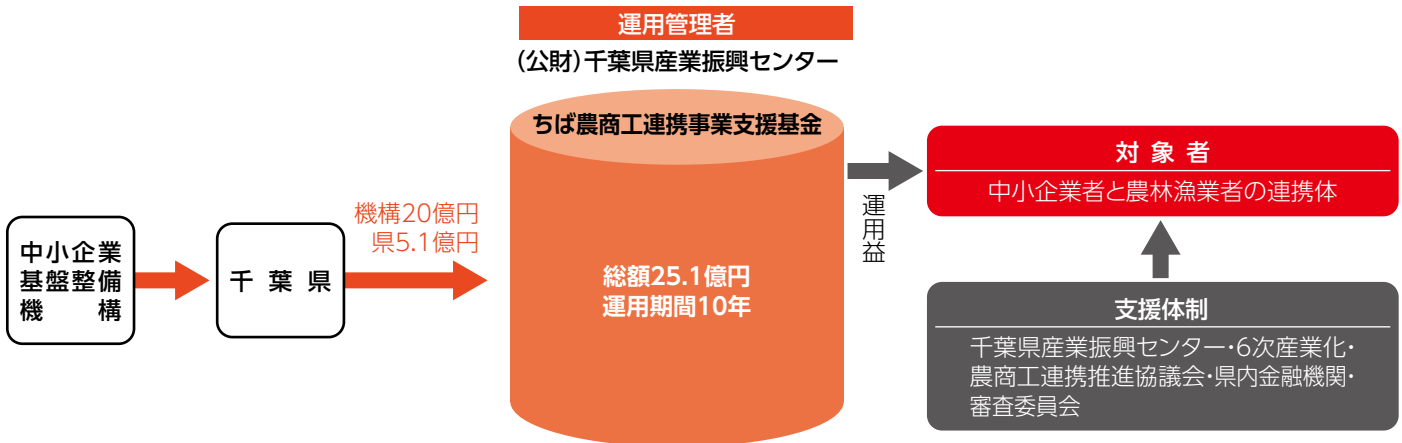
150万円

助成期間

1年以内

助成率

中小 1/2以内
 小規模 2/3以内



これまでの助成事例

有限会社スズ市水産／東安房漁業協同組合

助成事業テーマ 地場産低価格雑魚を用いた商品開発と販路開拓

主な助成対象経費 原材料・消耗品費、外注加工費、賃金等

事業概要

定置網に混獲される、鮮魚用途に適さない小型雑魚(ジンドアジ・小イサキ)の加工品(ごま衣、マリネ、さんま焼など)を開発。これまで機械で処理できなかった雑魚のハラスの骨を取り除く技術を導入することで、鮮度を保ちつつ加工することが可能になりました。量販店や生協等で扱われています。



株式会社さわらび／鴨川レモン研究会

助成事業テーマ 常春の国南房総発 鴨川「海と太陽のレモン」新商品開発事業

主な助成対象経費 事務費、外注加工費、委託費等

事業概要

地域の名産品である鴨川「海と太陽のレモン」の消費拡大のみならず、市場でのブランド認知度の向上、また地域としての「鴨川ブランド」の魅力向上のため、各種スイーツ(タルト、クッキーなど)を開発。房総地域の多くの土産物店で取り扱われるなど、主要商品となっています。



問合せ先 公益財団法人 にいがた産業創造機構 (NICO)

TEL 025-246-0025

FAX 025-246-0030

HP <http://www.nico.or.jp/>MAIL  (お問い合わせフォーム)

特徴

新潟県では、経済の活性化に向けて、挑戦しようとする方が多く集まり、起業・創業が次々とわき起こる環境を整備しています。にいがた創業応援基金では、新規性の高い技術や商品・サービスをもとに県内で創業しようとする者を支援し、成長性の高いビジネスを創出します。

— 支援重点分野 —

ベンチャー企業創出・育成

— 支援対象分野 —

【ベンチャー企業創出事業】

新規性の高い技術や商品・サービスをもとに、県内で創業しようとする個人またはグループ、決算を5期終えていない中小企業に対して、創業に必要な経費を助成し、県内における創業機運を高める。

助成対象期間：交付決定日から1年以内

※同一テーマで最長2カ年連続申請可能とする。

助成限度額：500万円

※連続申請の場合、2年目は300万円を上限とする。

助成経費：原材料費、機械装置・工具器具備品費、外注加工費、賃借料、消耗品費、通信運搬費等 (人件費は対象外)

想定事例：革新的な技術やアイデアによる新たなサービスやビジネス、地域資源を活用したビジネス等

助成上限

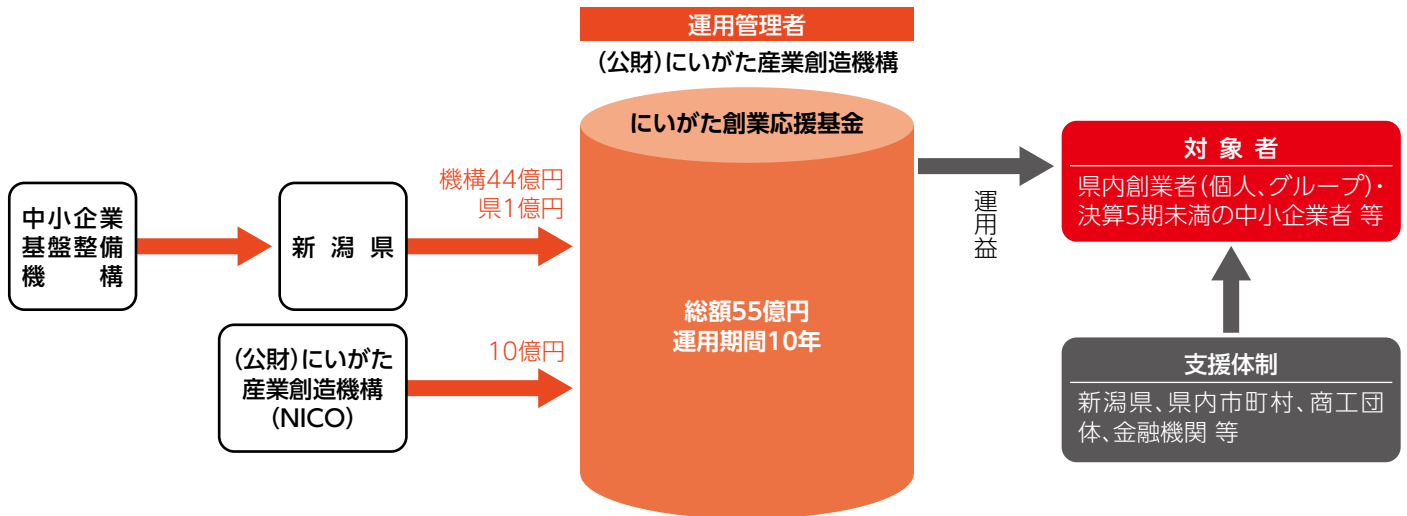
助成期間

助成率

5,000千円

1年以内

2/3以内



これまでの助成事例

妻有ビール株式会社

助成事業名 ベンチャー企業創出事業

助成事業テーマ 妻有ビール生産力強化による地域活性化の推進

主な助成対象経費 機械設備・工具器具等購入費

事業概要

妻有地域の活性化や近隣地域との広域連携を図る十日町初のクラフトビール醸造所として、十日町産のそばの実や、耕作放棄地を活用して栽培したホップにより、地域農業とつながるビールを醸造しています。



問合せ先 公益財団法人 やまなし産業支援機構

TEL 055-243-1888

FAX 055-243-1885

HP <https://www.yiso.or.jp/>

MAIL sinjigyo@yiso.or.jp

特徴

本県の未来を拓く新たな事業展開を支援するため、中小企業等が行う創業と新事業創出の取組に対し必要な資金を助成します。

—支援重点分野—

- (1)成長分野におけるスタートアップ支援 (2)次世代技術の活用支援

—支援対象分野—

特徴

助成上限

助成期間

助成率

- (1)成長分野スタートアップ資金助成事業

1,000千円

1年以内

2/3以内

県内での創業を促進するため、成長分野における開業予定者又は開業間もない者が必要とする経費に対し助成する。

- 対象者：①県内に本社(拠点)を設置して開業を行う者
-
- ②県内に本社(拠点)のある開業後5年未満の者

助成経費：登記費用、広告宣伝費、事務所開設費、事務所運営費、機械器具費、謝金等

- (2)次世代技術活用支援事業

2,000千円

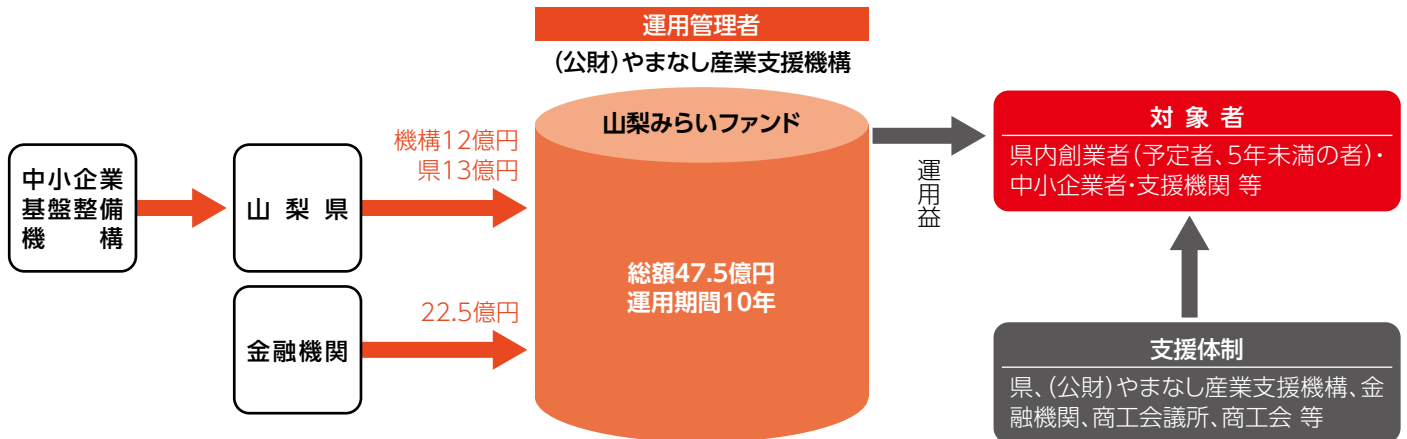
1年以内

2/3以内

近年発達の目覚ましいVR、ドローン、3Dプリンティング等の効用を取り込むため、次世代技術を活用した新たな事業活動に必要な経費に対し助成する。

- 対象者：県内に事業所がある中小企業者又はそのグループ

助成経費：謝金、旅費、機械器具費、研究開発事業費、庁費、委託費等



これまでの助成事例

株式会社CouCou-Lapin Domaine des Tengeijis

助成事業名 旧)開業資金助成事業

助成事業テーマ 耕作放棄地を利用した世界基準のワイン醸造

主な助成対象経費 広告宣伝費

事業概要

ブドウ栽培に適した風土、日本の固有品種である「マスカット・ベリーA」[甲州]及び社会課題となっている耕作放棄地を利用し、世界に通用するワインを作るワイナリーを立ち上げました。



ジット株式会社

助成事業名 旧)新製品研究開発支援事業

助成事業テーマ 果実に皮も種も丸ごと使った「食べるぶどうジュース」の商品化と展開

主な助成対象経費 謝金、研究開発事業費

事業概要

山梨県産のぶどうの果実、果皮、種子、種皮も含め、丸ごと微粉碎した完全無添加で栄養素の高い「食べるぶどうジュース」の製造方法を確立するとともに山梨県産のブルーベリーや桃、いちごを使用した「食べるジュース」のラインナップの多様化を行いました。



問合せ先 公益財団法人 石川県産業創出支援機構

TEL 076-267-5551

FAX 076-268-1322

HP <https://www.isico.or.jp/site/shinseihin/challengefund.html>

MAIL

特徴

石川県新長期構想では、「地域の強みを活かし成長する産業づくり」を産業振興の重点戦略としており、その施策として「新商品開発・販路開拓による新規需要の創出」や「地域の強みの活用」を掲げています。これら施策を推進するため、「いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド」を創設し、地域資源を活用した新商品・販路開拓を支援するとともに、ものづくり企業の製品開発等を支援する「ものづくり企業特別枠」を設け、中小企業の新事業展開を後押しすることで、石川県経済の持続的な成長につなげます。

一支援対象分野一

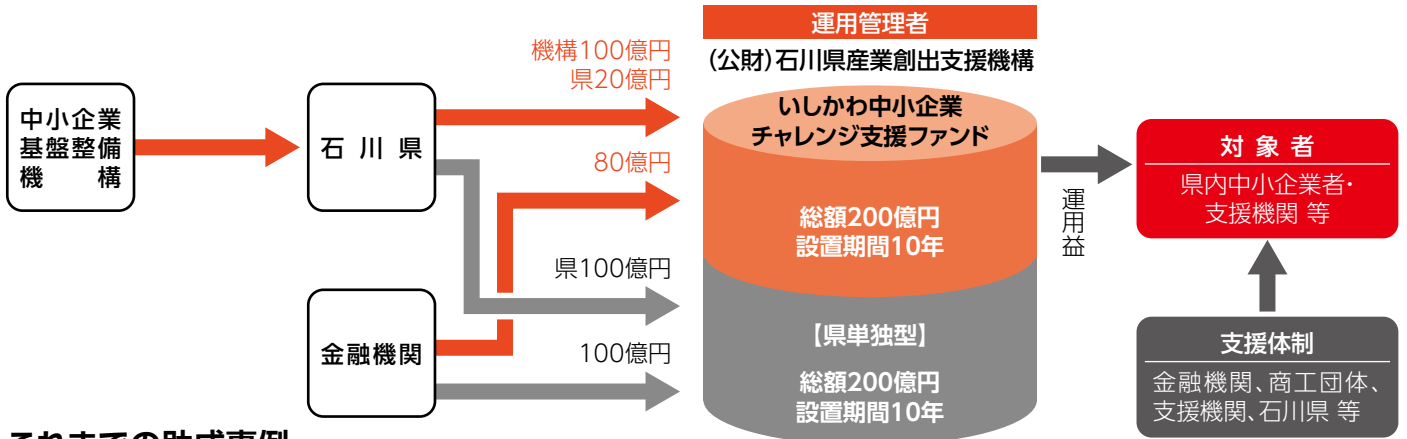
- (1)商品開発・販路開拓支援事業
中小企業等による市場調査から新商品・新サービスの開発、販路開拓に至るまでの取り組みを支援
- (2)企業連携による商品開発支援事業
複数の企業や、異業種連携・産学官の連携により、新商品を開発する取り組みを支援

事業枠	助成上限	助成期間	助成率
一般枠	3,000千円	3年以内	2/3以内
小規模企業者枠	1,500千円	3年以内	3/4以内
	5,000千円	3年以内	2/3以内

一支援対象分野【県単独型】一

- (3)ものづくり企業特別枠
機械や繊維などのものづくりの企業を対象に、事前調査から研究開発、販路開拓までを総合的に支援
- (4)事前調査、改良・販路拡大等支援事業
新商品開発に係る事前調査や商品の改良・販路開拓を支援
- (5)海外販路拡大枠
海外展開を行う企業が海外バイヤー等と連携し、現地のニーズに応じた商品開発・改良、販路開拓までの取り組みを支援

	助成上限	助成期間	助成率
	10,000千円	3年以内	2/3以内
事前調査	500千円(定額)	1年以内	
商品改良・販路拡大	1,000千円	1年以内	2/3以内
	5,000千円	3年以内	2/3以内



これまでの助成事例

三徳屋株式会社

- 助成事業名 商品開発・販路開拓支援 小規模企業者枠
- 助成事業テーマ ご飯入り金沢カレーゼリー(非常食・介護食)の開発
- 主な助成対象経費 試作開発費、PRパンフレットの作成等

事業概要

三徳屋は、非常食として、常温でそのまま食べることが可能なご飯入りカレーを製造・販売しています。今回、災害時の非常食や嚥下障害者の介護食として、スプーン等の食器がなくても、開封口からそのまま食べることができるゼリー状のカレーの開発を目指します。



ホクショー株式会社

- 助成事業名 ものづくり企業特別枠
- 助成事業テーマ 物流倉庫向けの仕分け作業用の無人搬送車の開発
- 主な助成対象経費 試作開発費、展示会の出展費等

事業概要

物流倉庫での仕分け作業の効率化を図るため、作業員が商品棚まで商品を取りに歩く従来の方法から、商品棚自体を作業員の前に搬送する無人搬送車の開発を目指します。国内トップシェアの垂直搬送機等と合わせて、物流搬送システムの効率化に一貫した対応を実現します。



問合せ先	公益財団法人 ふくい産業支援センター	TEL	0776-67-7400	FAX	0776-67-7429
HP	http://www.fisc.jp/	MAIL	i-fund@fisc.jp		

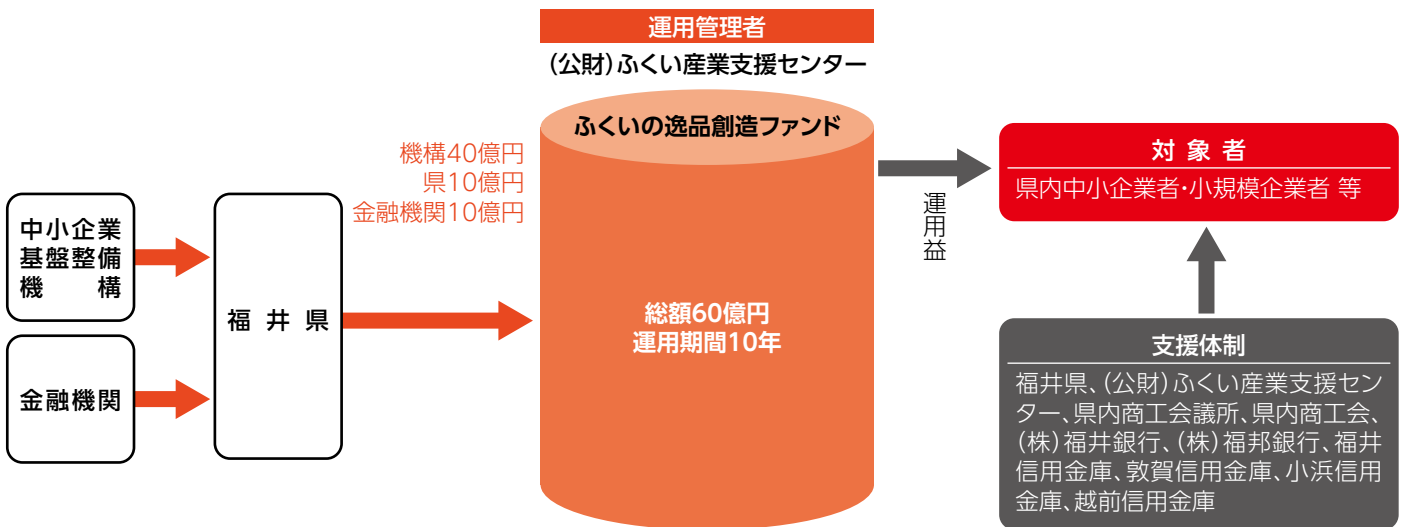
特徴 県内企業が有する高度なものづくり技術等の産業資源を基に、食や歴史、文化など地域の特色ある資源を活用しながら、顧客のニーズを的確につかんだ商品開発を行い、最も有利な販売チャンネルを開拓するなどの意欲ある中小企業等を、産業分野を特定せず幅広く支援します。

一支援重点分野一
 大都市圏を含む幅広い商圏における消費者をターゲットとして、繊維・眼鏡産業といった地場産業をはじめとする地域の産業が培ってきた高い技術力など、地域の特色ある資源等を活かした新商品・新サービス(ふくいの逸品)の開発および販路開拓にかかる取組みを支援します。

一支援対象分野一

助成上限	助成期間	助成率
2,000千円	2年以内	1/2以内

県内中小企業等への支援
 ○地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援事業
 助成対象者：県内の中小企業者および小規模企業者、組合、特定非営利活動法人、小規模企業者等で構成されるグループ



これまでの助成事例

株式会社丸和

助成事業テーマ 越前和紙を使った縫製雑貨の開発と販路開拓事業 ~"kasane"ブランドの構築~

主な助成対象経費 資材購入費、外注加工費等

事業概要
 手漉き和紙を手染めし、一点一点丁寧に縫い上げたハンドメイドの和紙雑貨品(名刺入れ、札入、ブックカバー)。越前和紙の柔らかい風合いを活かした、高い審美性と耐久性を兼ね備えた高級感のある逸品を開発。





株式会社越前セラミカ

助成事業テーマ 越前瓦製造技術を活かしたタイル開発と販路開拓事業

主な助成対象経費 機械改造費、ホームページ作成費等

事業概要
 福井の厳しい自然に耐えうる強度と耐久性を誇り、低吸水性で滑りにくい越前瓦。厳選した土の配合と、独自の焼成技術で色調に変化を与え、土の温かみと重厚感を持つ外壁・内壁・床面材としてのタイルを開発。



問合せ先 公益財団法人 岐阜県産業経済振興センター

TEL 058-277-1083

FAX 058-277-1095

HP <http://www.gpc-gifu.or.jp/>

MAIL fand-k@gpc-gifu.or.jp

特徴

中小企業者等が行う新商品・新技術開発、販売力強化事業に対して、地域のブランド創出、ものづくりを支援します。

— 支援重点分野 —

新商品・新技術開発、販売力強化事業

— 支援対象分野 —

助成上限 助成期間 助成率

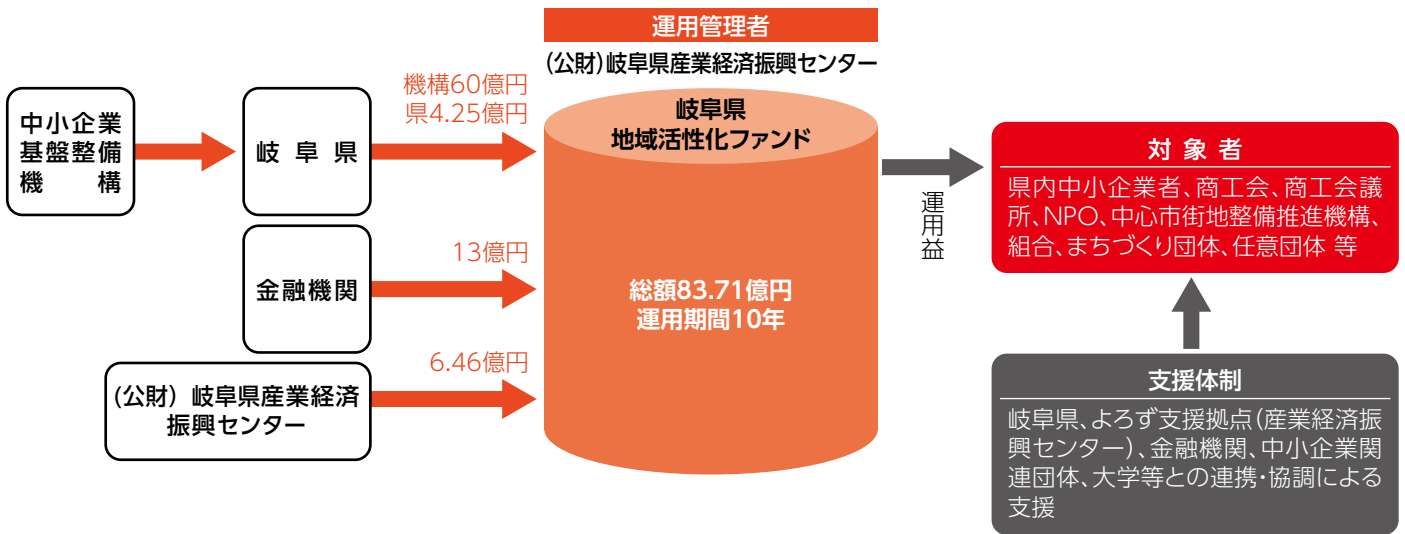
1,000千円 5年以内 1/2以内

【新商品・新技術開発、販売力強化事業】

- 新たな地場産品・高付加価値化商品の開発事業、新商品開発、新技術開発及び販売力強化に新たに
取り組む事業で事業者が作成した計画に基づく事業
- 地域団体商標制度を活用した新商品・新技術開発、販売力強化に取り組む事業

【助成経費】

- ・ 地域団体商標の出願、登録に要する経費
- ・ 地域団体商標制度を活用した新商品・新技術開発、販売力強化のための勉強会開催等に要する経費
- ・ 新商品・新技術、販売力強化のために要する経費
- ・ 専門コンサルタントの委嘱等に要する経費
- ・ 市場動向調査に要する経費
- ・ 国内特許出願等及び登録に要する経費
- ・ 必要な人材の育成に要する経費
- ・ 展示会、見本市への出展に要する経費



これまでの助成事例

株式会社長良園/JAぎふ岐阜市いちご部会

- 助成事業名** 新商品等開発・販売力強化事業
- 助成事業テーマ** 県産イチゴを活用した新食感洋菓子の開発・販売
- 主な助成対象経費** 展示会出展に係る経費、雑誌等広告費

事業概要

粉末化したイチゴパウダーをパウダーに適した小麦粉と配合し、風味を損なわない焼き加減で焼いた洋菓子の開発・販売。



カロツェリア・カワイ株式会社

- 助成事業名** 新商品・新技術開発・販売力強化事業
- 助成事業テーマ** 美濃焼と関刃物の融合によるセラミックナイフの開発・販売力強化
- 主な助成対象経費** 展示会経費、研究開発費

事業概要

地場産業の陶磁器技術と刃物技術を融合させたモダンカジュアルデザインのセラミックナイフの開発・販売。



問合せ先 公益財団法人 あいち産業振興機構

TEL 052-715-3074

FAX 052-563-1438

HP <http://www.aibsc.jp/>

MAIL info-chiiki@aibsc.jp

特徴

愛知県では、100億円の「あいち中小企業応援ファンド」を平成20年度に造成し、その運用益で、知恵や工夫を活かした地域の多様な取り組みを支援してきました。この「あいち中小企業応援ファンド」は平成30年度に償還を迎え、県内の主要地場産業支援に特化した制度にするなど内容を刷新し、新たに158億円のファンドを造成して事業を継続しています。また、ファンド後継事業を補完するため、県単独の取崩型のファンド事業を創設して、主要地場産業以外の産業分野も支援しています。

一支援重点分野一

- (1)主要地場産業における企業の稼ぐ力を強化し、付加価値の高いモノづくりの維持・拡大
- (2)主要地場産業以外の産業分野における付加価値の高いモノづくりの維持・拡大

一支援対象分野【運用型】一

(1)新事業展開応援助成金(地場産業枠)

対象事業者・対象分野

中小企業者等・一般社団法人及び一般財団法人・主要地場産業※1に関する地域産業資源※2を活用した中小企業等の新事業展開

※1 繊維・窯業・食品・家具・伝統的工艺品

※2 地域産業資源の内容は、愛知県が「地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想」で定める。

○助成経費：新製品(商品)開発、販路拡大、人材育成(新製品(商品)開発・販路拡大につながるもの)

助成上限 助成期間 助成率

3,000千円 1年以内 1/2以内

※小規模企業者は下記が選択できる

1,000千円 1年以内 2/3以内

※中小企業者団体、一般社団法人及び一般財団法人

6,000千円 1年以内 1/2以内

(2)新事業展開応援助成金(農商工連携枠)

対象事業者・対象分野

中小企業者等・一般社団法人及び一般財団法人・あいち産業科学技術総合センターや愛知県農業総合試験場等と連携して行う地域資源の農林水産物を活用した中小企業等の新事業展開

○助成経費：新製品(商品)開発、販路拡大、人材育成(新製品(商品)開発・販路拡大につながるもの)

3,000千円 1年以内 1/2以内

※中小企業者団体、一般社団法人及び一般財団法人

6,000千円 1年以内 1/2以内

一支援対象分野【取崩型】一

(1)新事業展開応援助成金(一般枠)

対象事業者・対象分野

中小企業者等・主要地場産業を除く産業分野の地域産業資源を活用した中小企業等の新事業展開

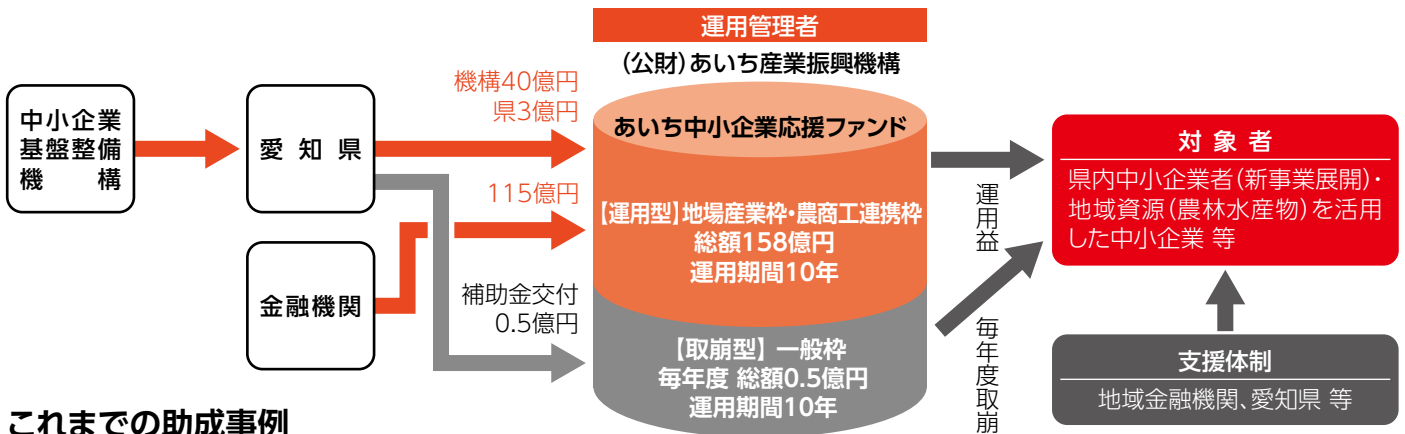
○助成経費：新製品(商品)開発、販路拡大、人材育成(新製品(商品)開発・販路開拓につながるもの)

助成上限 助成期間 助成率

3,000千円 1年以内 1/2以内

※小規模企業者は下記が選択できる

1,000千円 1年以内 2/3以内



これまでの助成事例

株式会社チップマン

- 助成事業名 地域産業資源活用応援ファンド
- 助成事業テーマ アーク溶接用ノズル自動交換及びスパッタ除去複合システムの開発と販路拡大
- 主な助成対象経費 原材料費、会場借料、従事者旅費等

事業概要

アーク溶接の自動化により、製造原価低減を実現しました。また、本製品の展示会発表により、国内外を問わず多くの企業から問い合わせがあり、販路拡大に成功しました。



九重味淋株式会社

- 助成事業名 モノづくり応援ファンド
- 助成事業テーマ みりん製造技術を利用した新しい調味料の開発と販路拡大
- 主な助成対象経費 原材料費、試作開発費、会場借料等

事業概要

粘度がありながら均一で滑らかな半液状態で、漬け床やソースの素となる、もろみ加工品を開発しました。伝統的製造法を踏襲しており、競合製品がなく、新規性に優れています。



問合せ先 公益財団法人 ひょうご産業活性化センター

TEL 078-977-9072

FAX 078-977-9112

HP <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>

MAIL shinjigyo@staff.hyogo-iic.ne.jp

特徴

農林漁業者と中小企業者等の有機的な連携を促進し、互いの有する経営資源を活用して相乗効果を発揮させた、農林水産物等を活用した新商品の開発、新サービスの提供、販路開拓等の取組を支援することによって、地域経済の活性化を図る。

—支援重点分野—

中小企業者等と農林漁業者が協働して行う新商品・新技術の開発、新サービスの提供、生産性向上に資する事業、事業可能性調査、販路開拓事業等に対して支援を実施することを通じて地域の活性化と新たな需要の創出を促進する。

—支援対象分野—

【農商工連携事業】
中小企業者等と農林漁業者の連携体
が、新商品の開発、新サービスの提
供及び販路開拓などに取り組む事業

助成対象：①～②にかかる経費
①研究開発費(研究開発に必要な事業化可能性調査)
②販路開拓(新たな販売方法開発、展示会出展等)

助成上限

500万円

助成期間

2年以内

助成率

2/3以内

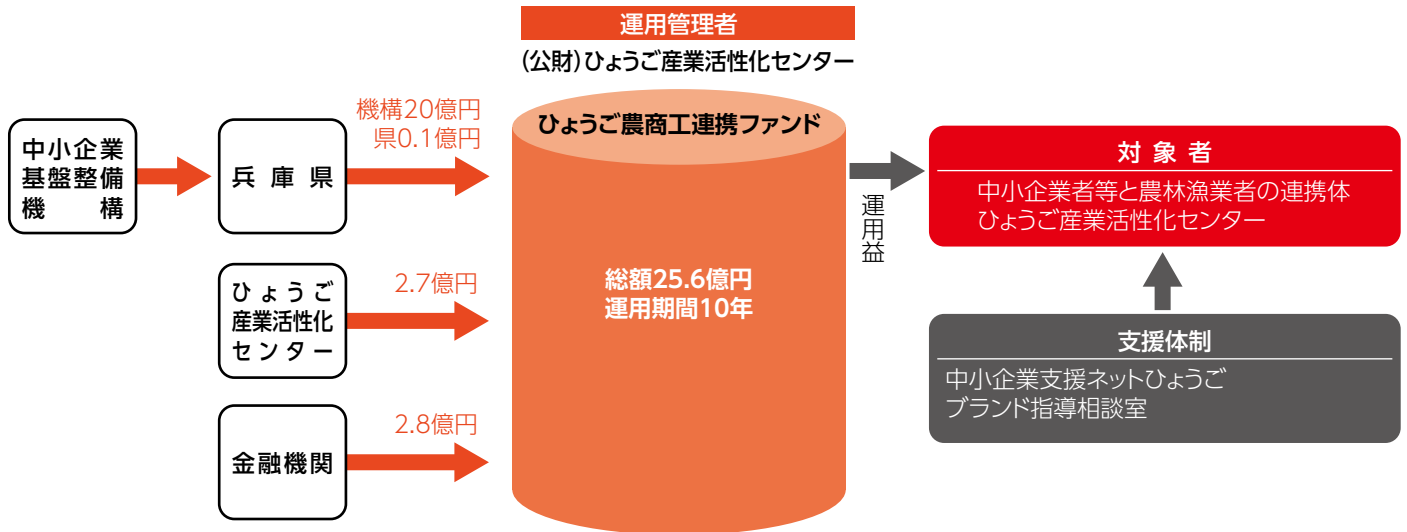
【支援機関事業】
(公財)ひょうご産業活性化センター
が、連携体を支援するために実施す
る事業

助成対象：①に係る経費
①商談会、マッチング会出展開催経費等

500万円

1年以内

定額



これまでの助成事例

株式会社亀井堂総本店

助成事業テーマ 淡路島で生産されたオリーブを使用した菓子の開発

主な助成対象経費 研究開発費・販路開拓費

事業概要

菓子製造技術を持つ(株)亀井堂総本店とオリーブの生産・加工技術を持つ(株)南あわじオリーブ園が連携し、オリーブを使用したバターサンドの開発に取組みました。



株式会社ナチュラルリズム

助成事業テーマ 有機JAS認証農産物を使った真空フライ製法によるチップスの開発

主な助成対象経費 研究開発費・販路開拓費

事業概要

有機農産物の生産を行う(株)ナチュラルリズムと真空フライ製法の技術を持つ(株)アトラステクノサービスが連携し、自然素材の味をそのまま生かした、健康や美容に配慮した野菜チップスの開発に取組みました。



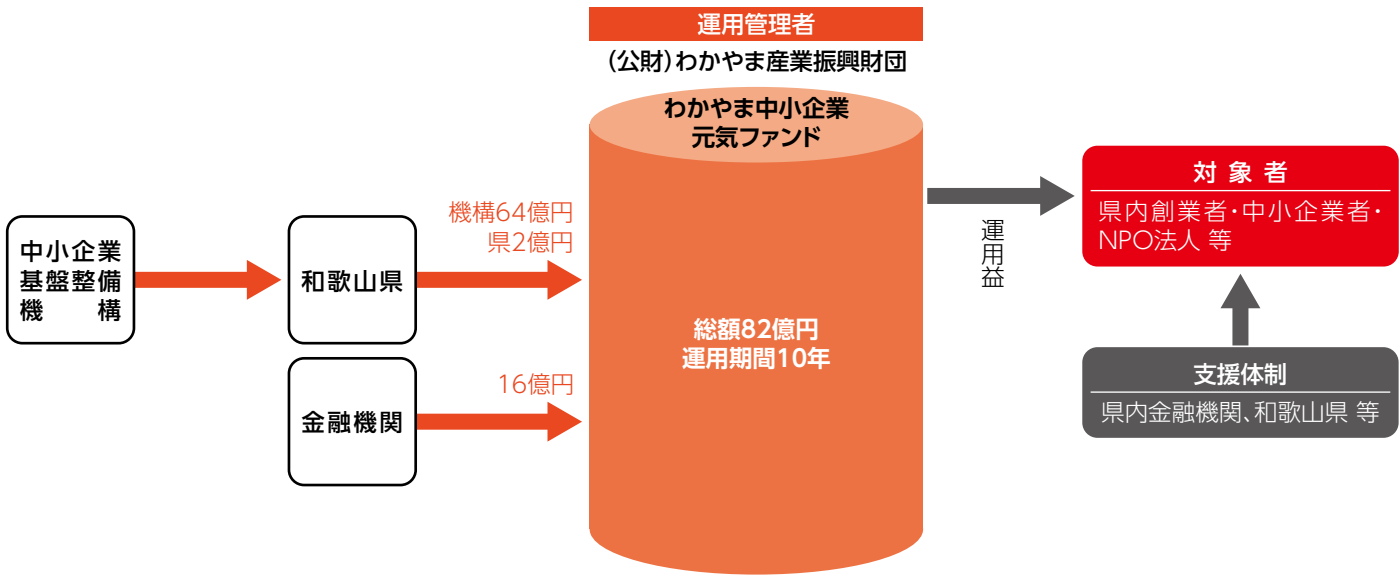
問合せ先	公益財団法人 わかやま産業振興財団	TEL	073-432-3412	FAX	073-432-3314
HP	http://www.yarukiouendan.jp/	MAIL	info@yarukiouendan.jp		

特徴
 「活力あふれる元気な和歌山経済」を目標に「地域資源を活かした足腰の強い地域産業の創出・育成」の実現を目指すため、①和歌山ブランドの創出を図る地域資源活用分野(ウメ、ミカン等の農林水産物、繊維、漆器等の産地技術、世界遺産、温泉等の観光資源)の事業化及び②素材(材料)、産業部材、食品加工、暮らし、観光の5つの新産業育成分野において大学・公設試等と連携して行う商品開発などの事業化を重点的に助成します。なお、県内外の28の産学官等で構成する「わかやま地域産業総合支援機構(らいぼ)」を核としてビジネスマッチング、販路拡大などを支援します。

一支援重点分野一
 地域資源活用分野

一支援対象分野一

地域資源活用分野 「地域資源」を活用した新商品・サービスの開発・販路開拓など事業化を支援し、新「わかやまブランド」の創出を図る。 地域資源：鉱工業品・産地技術、農林水産品、観光資源 助成対象：中小企業者、事業協同組合、農協、漁協、森林組合、創業者等 助成対象事業：新商品・サービスの試作・開発、展示会・見本市への出展等	助成上限 1,000～6,000千円	助成期間 2年以内	助成率 2/3以内
---	-----------------------	--------------	--------------



これまでの助成事例

株式会社カワ

助成事業名：地域資源活用事業
 助成事業テーマ：「三宝柑」を用いた氷菓(アイスクリーム類)の開発
 主な助成対象経費：研究開発費

事業概要
 地域資源である「三宝柑」の果汁及び果皮全体を使用したアイスクリームです。

阪和電子工業株式会社

助成事業名：新産業育成事業
 助成事業テーマ：「新型TLP試験器」の開発と事業化
 主な助成対象経費：研究開発費

事業概要
 大電流・高電圧化に対応した高スペックのTLP試験器。半導体デバイス開発における静電気放電保護回路の分析・評価に力を発揮します。

北海道・東北
 関東・甲信越
 北陸・中部
 近畿
 中国・四国
 九州・沖縄

問合せ先 公益財団法人 わかやま産業振興財団

TEL 073-432-3412

FAX 073-432-3314

HP <https://yarukiouendan.or.jp/>

MAIL shinsan@yarukiouendan.jp

特徴

「活力あふれる元気な和歌山経済」の実現に向け、農商工連携を促進させ地域経済の中心である農林漁業者・中小企業者の活性化を図る。

—支援重点分野—

農商工連携事業

—支援対象分野—

【農商工連携事業】

農林漁業者・中小企業者等との連携を活かした新商品・新サービスの開発・新たな生産方法・新たな販売方法の開発の事業

助成対象：①～④にかかる経費の一例

- ①外部専門家に対する謝金及び旅費
- ②会場借上料、調査開発研究費、機器借上料等
- ③印刷製本費、集計分析費
- ④調査研究・開発研究等の委託費用

助成上限

助成期間

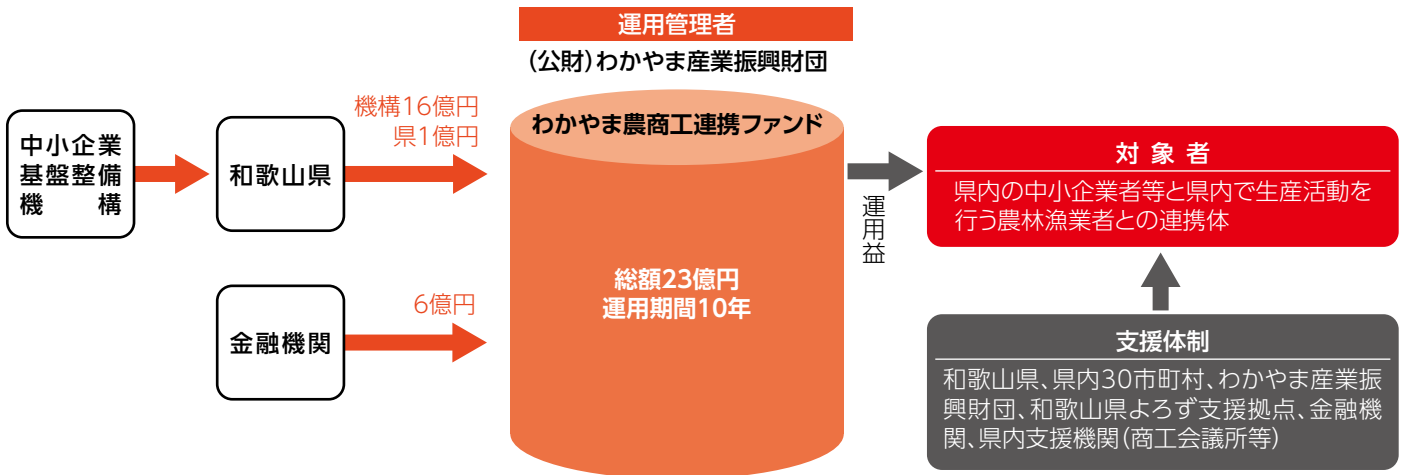
助成率

300万円

11ヶ月以内*

2/3以内

※但し、2年間に要する事業は、承認を得た場合、1年11ヶ月以内



これまでの助成事例

福太郎／かんじゃ山椒園

助成事業テーマ 山椒と鮎を用いた加工品の開発

主な助成対象経費 原材料費

事業概要

鮎の甘露煮を中心とした『和の匠』紀ノ川の伏流水で育てた鮎の甘露煮と、粒が大きく他の地域では見られない独自の香りを持っている和歌山県産の山椒(ぶどう山椒)を用いた新たな名産品の開発。



マルカ林業株式会社／ネットヨタ和歌山株式会社

助成事業テーマ 紀州材を活用した木育グッズ、木づかいグッズの開発

主な助成対象経費 研究開発費

事業概要

マルカ林業(株)の山林で伐採されるグリーンウッドである紀州材を使った、新たな木の国和歌山ブランドである木育グッズ、木づかいグッズ「KIICHEー木種ー」の開発。



問合せ先 公益財団法人 鳥取県産業振興機構

TEL 0857-52-6707

FAX 0857-52-6673

HP <https://www.toriton.or.jp/>

MAIL staff@toriton.or.jp

特徴

鳥取県の経済成長力を高めるため、革新的な起業化促進を図るとともに、新事業に挑戦する起業家を発掘・育成します。

—支援重点分野—

鳥取県内で育ちつつある将来有望な技術シーズで、かつ、相当程度の高い市場性が見込まれ、県内での新産業創出等につながる事が期待される先端技術分野（例：バイオ(創薬)、医療機器、IoT・AI、先進運転支援デバイス等）

—支援対象分野—

(1)開発支援型(年2回程度)

商品化に向けた技術実証・試作改良に必要な経費
定額補助(上限 1,000万円)

助成上限

10,000千円

助成期間

2年以内

助成率

10/10以内

(2)スタートアップ型(年2回程度)

起業・新事業展開時の必要経費
シーズ段階での研究開発等経費
定額補助(上限 500万円)

助成上限

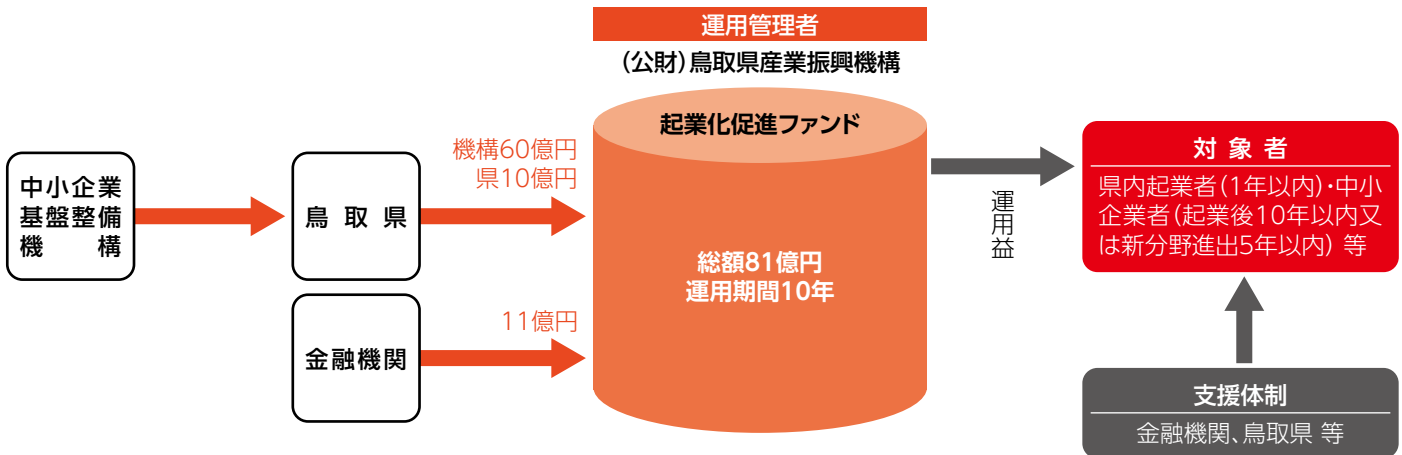
5,000千円

助成期間

2年以内

助成率

10/10以内



これまでの助成事例

株式会社Trans Chromosomics

助成事業名 とっとり起業化促進ファンド事業

助成事業テーマ 完全ヒト抗体によるがん転移抑制
剤の開発

主な助成対象経費 研究開発、商品開発費

事業概要

特異性が高く且つがん転移を抑制する抗A抗体の完全ヒト抗体を取得。完全ヒト抗体産生マウスを用いて抗体医薬開発ができる事を実証することで製薬企業への動物提供ビジネスの販促データにもなり得ます。

■ 完全ヒト抗体産生動物を用いるヒト抗体作製方法



問合せ先 公益財団法人 とくしま産業振興機構

TEL 088-654-0102

FAX 088-653-7910

HP <https://www.our-think.or.jp/>

MAIL jigyouka@our-think.or.jp

特徴

徳島県が誇る地域資源である2つのブルー「LED」、「藍」を活用した県内中小企業の新たな商品・技術の開発やブランド化・販路開拓の取組、本県の基幹産業である農林水産業の成長産業化や新たな事業創出につながる取組を特別支援枠として重点的に支援することにより、「徳島の強み」を活かした新たな事業・イノベーションの創出を促進し、県内経済の活性化を図ります。

— 支援重点分野 —

- LEDや次世代LED、藍を活用した新製品の開発やブランド力向上の取組
- LEDや藍を活用するなど農林水産業の成長産業化に向けた「徳島ならではの」取組

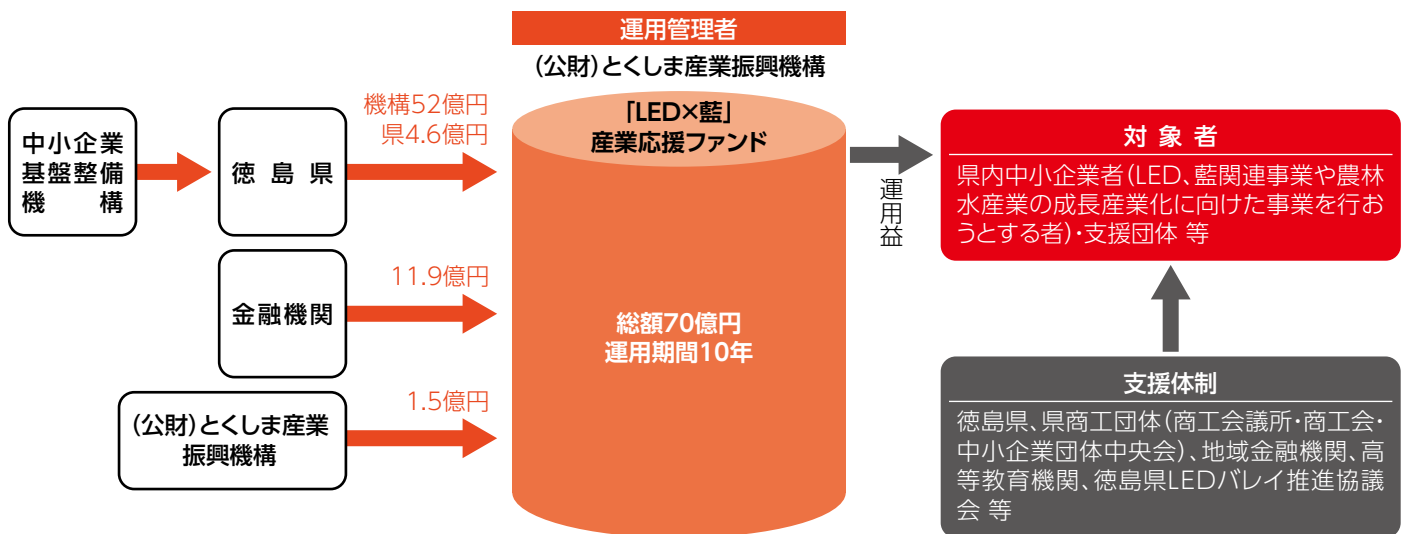
— 支援対象分野 —

- 新商品・技術開発支援事業
LED、藍を活用した新たな商品・技術の開発、農林水産業の成長産業化に向けた新たな商品・技術の開発を実施する事業者に対し、事業に必要な経費の一部を支援
助成経費：・新たな商品・技術開発に要する経費 など

助成上限	助成期間	助成率
中小企業者、支援団体 2,000千円 小規模企業者 1,000千円	1年以内	中小企業者、支援団体 2/3 小規模企業者 3/4

- 地域ブランド化・販路開拓支援事業
LED、藍を活用した商品のブランド化・販路開拓、農林水産業の成長産業化に向けた商品のブランド化・販路開拓を実施する事業者に対し、事業に必要な経費の一部を支援
助成経費：・販路開拓のための展示会出展等に要する経費
・ブランド化のための事業に要する経費 など

助成上限	助成期間	助成率
中小企業者、支援団体 2,000千円 小規模企業者 1,000千円	1年以内	中小企業者、支援団体 1/2 小規模企業者 2/3



これまでの助成事例

徳真電機工業株式会社

- 助成事業名 LED産業振興事業
- 助成事業テーマ LED照明による画像処理装置の開発
- 主な助成対象経費 原材料費、工具機器購入費、調査分析費等

事業概要

平成20年に画像処理用照明システムの開発に着手、ベアリングなど工業製品の傷、形状、色の検査を視覚装置で良否判定を行う外観検査装置を完成しました。この装置はベアリング専用の外観検査装置として大手ベアリング製造メーカーに導入されました。



東西電工株式会社

- 助成事業名 LED産業振興事業
- 助成事業テーマ 入力電力100W以下のLED道路灯照明
- 主な助成対象経費 原材料費、機械器具借料、調査分析費等

事業概要

LED道路灯として①ストレートポールタイプ ②サイド用タイプ ③トンネル用タイプを開発しました。消費電力100WのLED道路灯が開発でき、社会の省エネの方向性にそった商品が供給できるようになりました。



問合せ先 公益財団法人 とくしま産業振興機構

TEL 088-654-0102

FAX 088-653-7910

HP <https://www.our-think.or.jp/>

MAIL jigyouka@our-think.or.jp

特徴

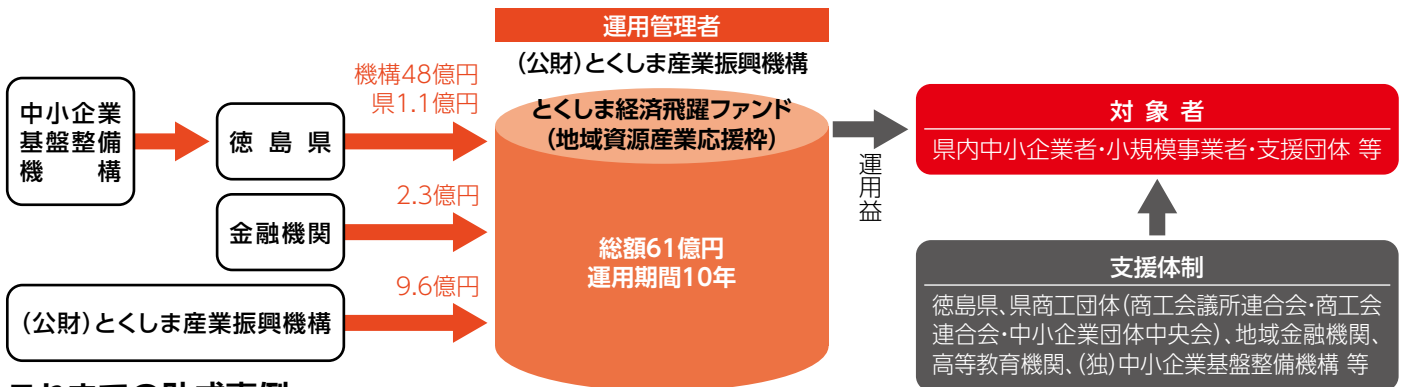
「徳島こそ」、「徳島ならではの」地域資源にさらに磨きをかける事業として、「健康・医療」、「ICT」、「伝統の技」、「メカトロ」、「アグリ」、「商業・サービス」、「コミュニティビジネス」など地域資源を活かした新しい事業を支援し、競争力を有するオンリーワン産業（「徳島発の先端ビジネス産業」、「ものづくり産業」、「まちづくり産業」）を育成、創造するなど、経済飛躍ととくしまの実現を図ります。

—支援重点分野—

- (1)本県が誇る地域資源の高付加価値化やブランド力の向上に繋がる事業
- (2)「徳島ならではの」新たな事業・イノベーションの創出に繋がる事業

—支援対象分野—

	助成上限	助成期間	助成率
(1)-1 新商品・技術開発支援事業 地域資源を活用した新たな商品・技術開発を実施する事業者に対し、事業に必要な経費の一部を支援 助成経費：地域資源を活用した新商品・技術開発に要する経費	中小企業者、支援団体 2,000千円 小規模企業者 1,000千円	1年以内	中小企業者、支援団体 2/3 小規模企業者 3/4
(1)-2 ブランド化・販路開拓支援事業 地域資源を活用した商品のブランド化や販路開拓を実施する事業者に対し、事業に必要な経費の一部を支援 助成経費：販路開拓のための展示会出展等に要する経費 ブランド化のための事業に要する経費	中小企業者、支援団体 2,000千円 小規模企業者 1,000千円	1年以内	中小企業者、支援団体 1/2 小規模企業者 2/3
(1)-3 人づくり支援事業 地域資源を活用した事業に係る人材育成に必要な経費の一部を支援 助成経費：研修等、人材育成に要する経費	中小企業者、支援団体 2,000千円 小規模企業者 1,000千円	1年以内	中小企業者、支援団体 2/3 小規模企業者 3/4
(1)-4 にぎわいづくり支援事業 地域資源を活用した地域のにぎわいづくり事業に必要な経費の一部を支援 助成経費：観光・文化等の地域資源を活用	中小企業者、支援団体 2,000千円 小規模企業者 1,000千円	1年以内	中小企業者、支援団体 2/3 小規模企業者 3/4
(2)創業支援事業 創業・起業に必要な経費の一部を支援 助成経費：地域資源を活用した事業を実施するために必要な市場の動向調査、新商品・技術開	中小企業者 1,000千円	1年以内	中小企業者 3/4



これまでの助成事例

株式会社丸本

- 助成事業名 新商品・技術開発支援事業
- 助成事業テーマ 地鶏(阿波尾鶏)を使った 普段にも使える美味しい防災食の開発
- 主な助成対象経費 原材料費、工具機器購入費、外注加工費等

事業概要

阿波尾鶏を活用した美味し防災用食品①「阿波尾鶏ご飯セット(個食)」、②「阿波尾鶏ご飯セット(20食)」、③「阿波尾鶏焼き鳥缶詰」開発、販路開拓。



株式会社絹や

- 助成事業名 ブランド化支援事業
- 助成事業テーマ 藍染め応用製品「天然藍染め皮革」ネクストステージプロジェクト事業
- 主な助成対象経費 会場借料、運搬費、印刷製本費等

事業概要

藍染めを天然皮革に染色を施す技術開発の成果品「ファッション雑貨」並びに素材「藍染め皮革」の販路開拓の推進として首都圏での展示会に出展しました。



問合せ先 公益財団法人 かがわ産業支援財団

TEL 087-868-9903

FAX 087-869-3710

HP <http://www.kagawa-isf.jp/>

MAIL info@kagawa-isf.jp

特徴

先端技術産業と地場産業における創業や研究開発、販路開拓を重点的に支援します。

—支援重点分野—

先端技術産業と地場産業を重点支援分野に位置づけ、創業や研究開発、販路開拓などを支援する。

—支援対象分野—

【新分野等チャレンジ支援事業】

<助成対象>

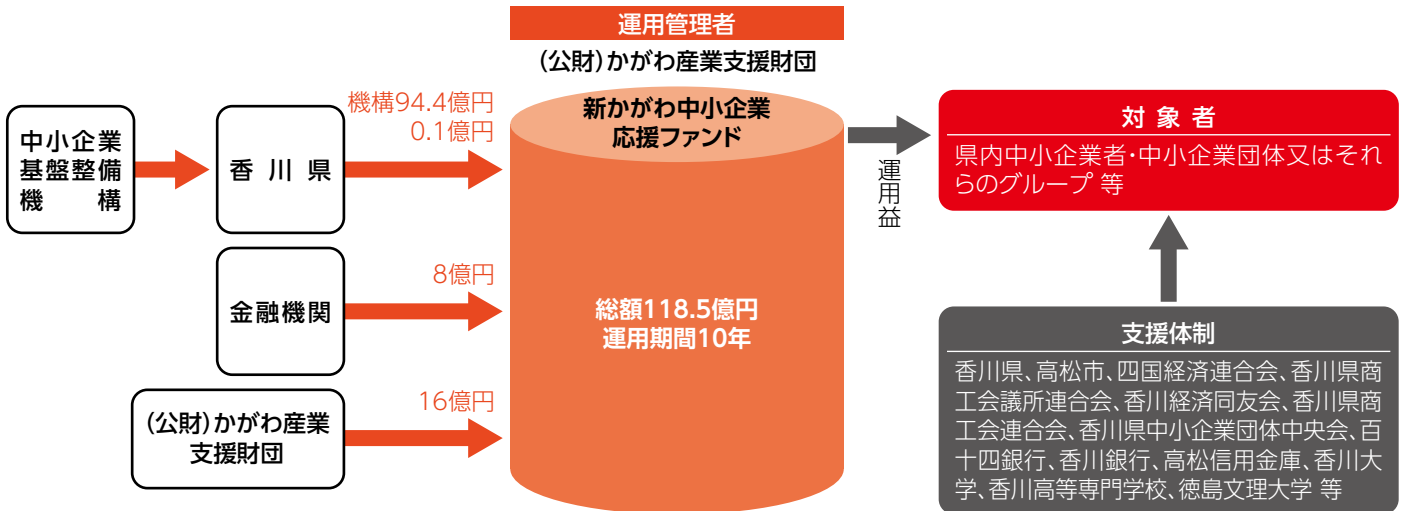
- 新分野進出のための商品・技術の開発
- 付加価値の高い新製品開発のための実証試験
- 技術課題の解決
- 市場性を見極めるための試作品作成
- 新事業の可能性評価

助成経費

- ・研究開発費：原材料費・機械装置・工具器具費・外注加工費・産業財産権取得費 など
- ・市場調査及び見本市出展にかかる経費：市場調査費・国内見本市出展費・委託費 など

助成上限 助成期間 助成率

1,000千円 1年以内 2/3以内



これまでの助成事例

西野金陵株式会社

助成事業名

新分野等チャレンジ支援事業
(旧ファンド 平成27年度 後期)

助成事業テーマ

香川県産の桃を使った
新食感リキュールの開発

主な助成対象経費

研究開発費、販路開拓費

事業概要

「さめき讃フルーツ」の桃を原料とした、果肉が底に沈むほど桃をふんだんに使用したジューシーで濃厚なりキュール『金陵 さめきのもも』を完成させ、新規顧客の獲得などに努めました。



株式会社ヤエス

助成事業名

新分野等チャレンジ支援事業
(旧ファンド 平成29年度 前期)

助成事業テーマ

車椅子フットプレート用サポートガードの開発

主な助成対象経費

研究開発費、市場調査及び
見本市出展費

事業概要

車いす足置台(フットプレート)に簡単に装着することができ、なおかつ少しでもヒヤリハットの事例が解消できるサポートガードの開発に取り組み、2種類の製品を完成させました。

サポートガード
引手なしサポートガード
引手あり

問合せ先 公益財団法人 えひめ産業振興財団

TEL 089-960-1201

FAX 089-960-1105

HP <http://www.ehime-iinet.or.jp/>

MAIL  (お問い合わせフォーム)

特徴

愛媛県では、「愛媛県産業振興指針」の戦略の中に、地場産業など既存産業の高付加価値化・高度化や、経済産業社会の新陳代謝を促進する創業など新事業の創出を掲げていますが、その推進に向けて、県内の恵まれた自然、豊富な農林水産物や加工品、世界に誇り得る製品を生み出す企業や技術など、地域資源を活用した創業、地域ニーズに対応した創業等を支援し、本県経済をけん引する成長企業等の発掘、育成に取り組めます。

— 支援重点分野 —

地域資源を活かしたビジネス及び地域ニーズに対応したビジネスの創出に向けた助成を行う。

— 支援対象分野 —

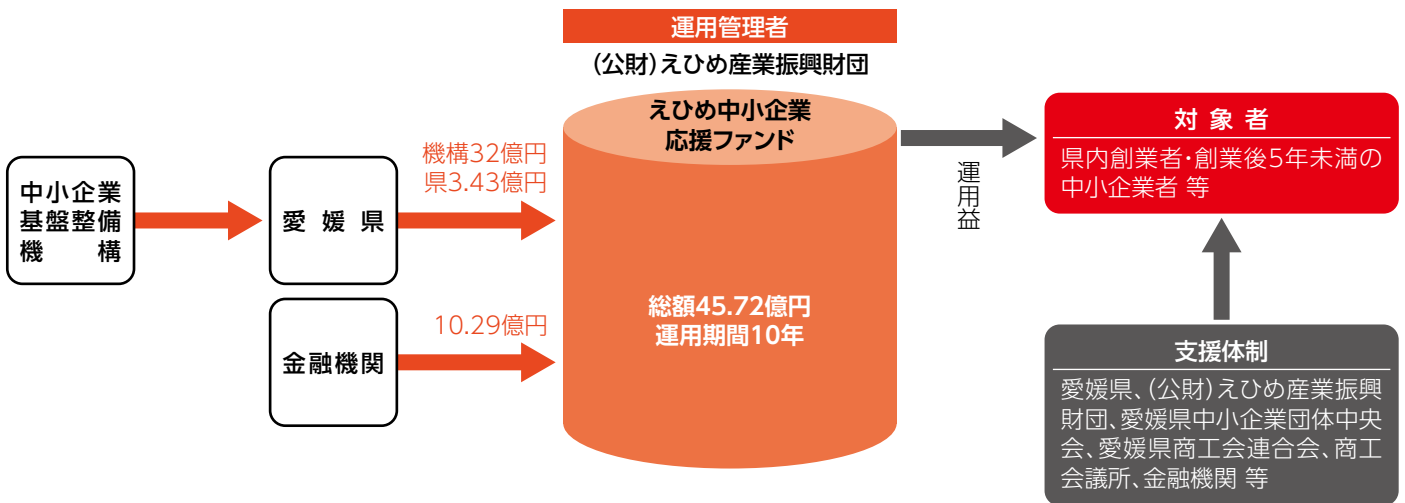
【創業等に係る助成事業】

県内で培われた製造技術や農林水産物、伝統工芸品等の特産物、文化財、自然の風景などの地域資源を活かしたビジネス及び地域ニーズに対応したビジネスに助成する。

助成経費：法人設立経費、設備・備品費、販売促進経費等

助成対象者：法人を設立して地域に密着した事業に取り組もうとする個人又はグループ、地域に密着した事業に新たに取り組もうとする創業後5年未満の中小企業者（愛媛県に本社、主たる事務所を有し、愛媛県内で事業を実施する者）

助成上限 助成期間 助成率
1,500千円 1年以内 3/4以内



これまでの助成事例

えいら株式会社

- 助成事業名 地域密着型ビジネス創出助成事業
- 助成事業テーマ 宇和島産柑橘および観音水を使用したラスクの製造・PIS(全国単品無店舗型販売)事業
- 主な助成対象経費 設備・備品費

事業概要

地域資源である柑橘(伊予かん・美生柑・ブラッドオレンジ)を生のまま生地に練り込むという独自の製法で付加価値をつけ、こだわりの水(名水百選に選ばれた観音水)を利用することにより、個性的なラスクを開発・製造し、全国展開を図っています。



株式会社さくらコットン

- 助成事業名 地域密着型ビジネス創出助成事業
- 助成事業テーマ 廃棄予定タオル・B品タオルなどを活用した女性用機能パッド開発事業
- 主な助成対象経費 マーケティング費、設備・備品費

事業概要

地域資源である今治タオルを活用して、女性の悩みを解消することを目的とした女性用機能パッド(尿漏れ・冷えとり)の企画・開発・販売を実施します。



問合せ先 公益財団法人 えひめ産業振興財団

TEL 089-960-1201

FAX 089-960-1105

HP <http://www.ehime-iinet.or.jp/>

MAIL  (お問い合わせフォーム)

特徴

本県では、平成29年11月に、地域に潜在する資源を掘り起こして地域密着型のビジネスを創出・育成することを目的とする第1期ファンド(えひめ中小企業応援ファンド: 45.72億円)を創設しました。
さらに、県内の既存産業の高付加価値化・高度化や、新規成長分野産業への支援を推進するため、第2期ファンド60.1億円を追加造成し、第1期ファンドと合わせて総額105.82億円となる「えひめ中小企業応援ファンド」として、ビジネスシーズの発掘から創業を経て中核企業に成長するまでを一貫して支援する中小企業の育成システムを構築しています。

—支援重点分野—

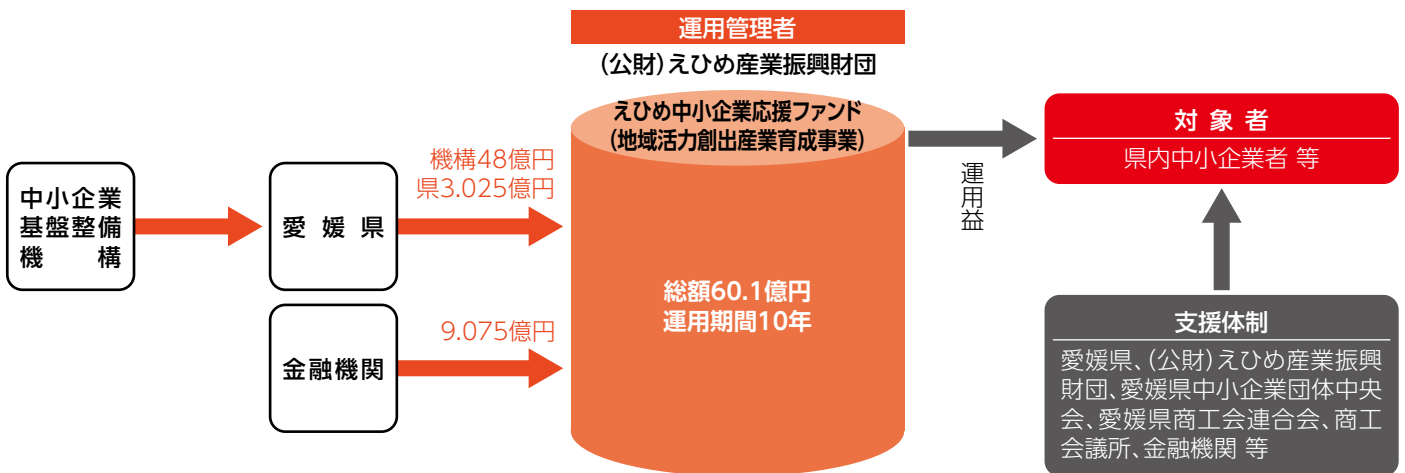
新事業展開・商品開発

—支援対象分野—

中小企業の経営改善につながるような商品開発(改良を含む)や技術等を活用した新事業展開への取組み
助成対象事業: 中小企業等の経営改善につながるような商品開発(改良を含む)や技術等を活用した新事業展開等への取組
助成経費: 助成事業の実施に必要な技術・製品開発、新事業展開販路開拓及び人材育成その他の経費
助成対象者: 中小企業者、中小企業団体又はそれらのグループとする。

助成上限 助成期間 助成率

1,500千円 1年以内 2/3以内



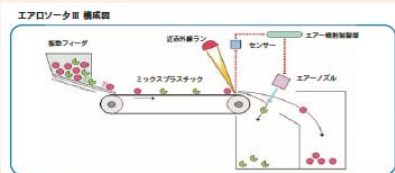
これまでの助成事例

ダイオーエンジニアリング株式会社

- 助成事業名 がんばるものづくり企業助成事業
- 助成事業テーマ 大量迅速処理を可能とする廃棄硬質プラスチックの高精度材質別選別装置の開発
- 主な助成対象経費 機械装置・工具器具費

事業概要

廃家電回収品の中で手解体できないものを破砕して発生するミックスプラスチックを、実用化レベルの処理量・高精度で単一材質ごとに選別する装置を開発。
付帯センサーとして色彩センサーを付け、ミックスプラスチック中のその他異物を選別除去し純度を高める装置を開発しています。



有限会社愛トリノ

- 助成事業名 がんばるものづくり企業助成事業
- 助成事業テーマ 変形性膝関節症の患者への自立支援のための膝装具の開発を行う。
- 主な助成対象経費 外注加工費

事業概要

形性膝関節症の患者への自立支援のための膝装具の開発を行っています。



問合せ先 公益財団法人 高知県産業振興センター

TEL 088-845-6600

FAX 088-846-2556

HP <https://joho-kochi.or.jp/>

MAIL kigyousinkou@joho-kochi.or.jp

特徴

地域の強みのある固有の技術、豊かな地域資源を活かした取組及びものづくり企業の競争力強化の取組等を(公財)高知県産業振興センターや金融機関等の各種支援機関の連携により支援します。

— 支援重点分野 —

- (1)「地産」を強化する取組
- (2)「地産」により生み出されたものを生かして「外商」をさらに拡大する取組

— 支援対象分野 —

(1) 経営革新等支援事業

県の承認を受けた経営革新計画、企業が作成した事業戦略又は商工会・商工会議所が認定をした経営計画に基づいた新商品やサービスの開発、新たな販路開拓などに取り組む企業のその実行を支援。

助成上限 助成期間 助成率

2,000千円 3年以内 1/2以内

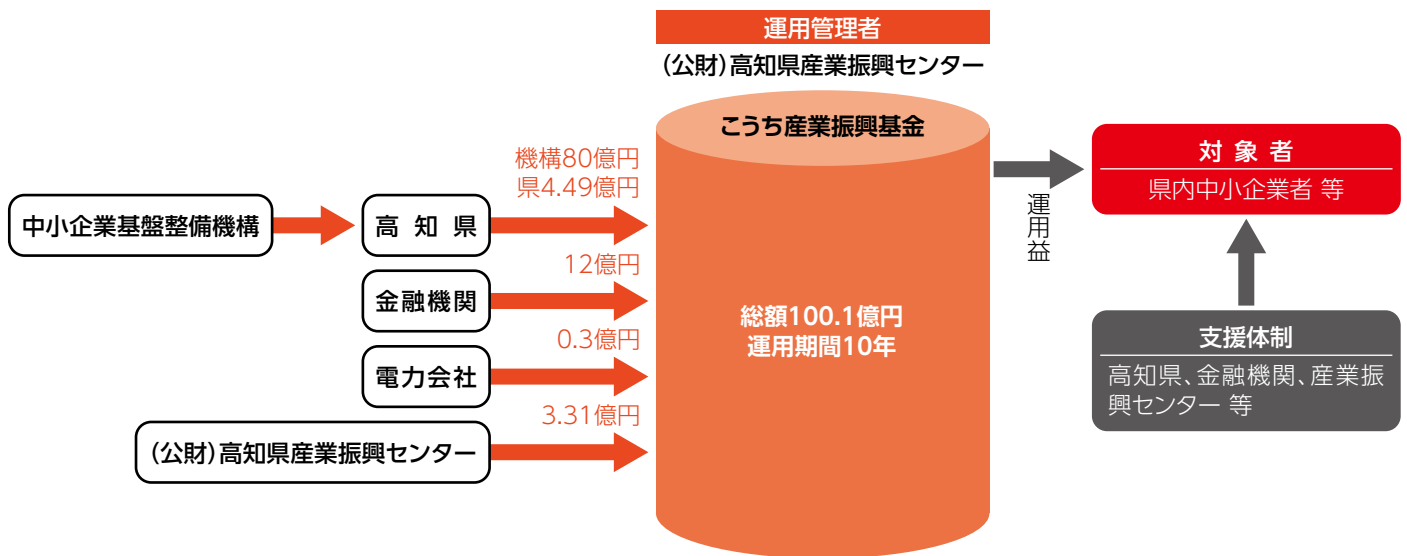
(2) 販路開拓支援事業

国内外で開催される展示会や商談会への出展をし、販路開拓や受注拡大を図る取組を支援。

- ① 海外展示会出展事業
- ② 国内展示会出展事業

1,000千円 3年以内 1/2以内

300千円 3年以内 1/2以内



これまでの助成事例

エフコン株式会社

- 助成事業名 経営革新等支援事業
- 助成事業テーマ 多機能小型マスフローコントローラーの製品化及び新市場の販路拡大
- 主な助成対象経費 研究開発原材料費

事業概要

省スペース化、小型化、外部制御機能・高速応答・各ガス種対応可能等市場ニーズに対応した、多機能小型マスフローコントローラー(流体の質量流量を計測することにより流量制御を行う装置)の製品化を目指しました。



酔鯨酒造株式会社

- 助成事業名 販路開拓支援事業(海外展示会出展事業)
- 助成事業テーマ 第25回 New York Mutual Trading レストランショー及び第30回 LA Mutual Trading レストランショーへの出展
- 主な助成対象経費 旅費、出展小間料、小間装飾料、印刷製本費

事業概要

自社製品の清酒(純米大吟醸DAITO・M ANN(万)・SHO(象)等)のPRを行い、アメリカ各地での更なる認知度向上及び販路拡大を図りました。



問合せ先 公益財団法人 長崎県産業振興財団

TEL 0957-52-1138

FAX 0957-52-1140

HP <https://www.joho-nagasaki.or.jp/>

MAIL oomura@joho-nagasaki.or.jp

特徴

本県経済を牽引する産業の創造と集積を目指し、本県の強みを活かして、将来有望な分野において経営の革新や創業を行う中小企業者等の取組みを支援します。

一支援重点分野一

地域未来投資促進法に基づく基本計画に定める3つの分野と、本県の特徴ある産業の一つである食料品製造業分野へ積極的な支援を行います。

- (1) 成長ものづくり分野(造船・プラント、航空機等)、(2) 環境・エネルギー関連分野、
(3) 第4次産業革命分野(半導体、ロボット、組込・IoT等)、(4) 食料品製造業分野

一助成事業の内容一

助成上限

助成期間

助成率

【自社の新製品・新技術開発と販路拡大】

- 技術応用開発・事業化調査事業
○商品化研究・開発支援事業
- 見本市出展支援事業
○認証取得支援事業

【技術応用開発・事業化調査事業】

助成経費：初期段階における研究開発費用や自社開発製品等の事業化を図るために必要な事業化調査、市場調査

3,000千円

1年以内

2/3以内

【商品化研究・開発支援事業】

助成経費：自社の新技術、県内にはない技術導入を行い、新製品及び試作品を作る費用

5,000千円

2年以内

2/3以内

【見本市出展支援事業】

助成経費：販路開拓のための見本市出展費用

1,000千円

1年以内

2/3以内

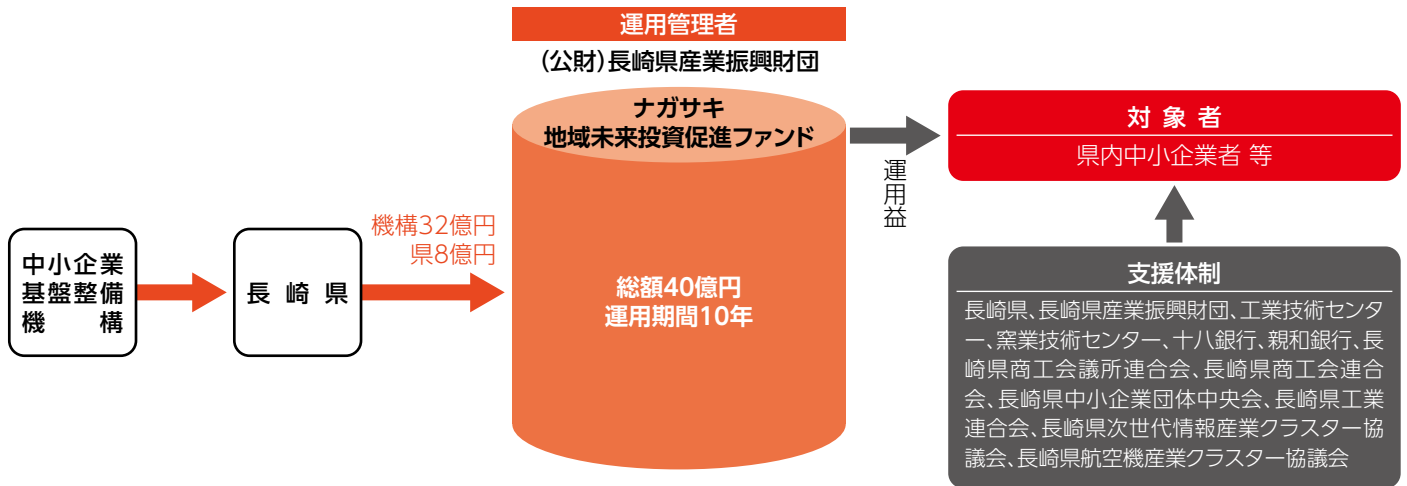
【認証取得支援事業】

助成経費：国際規格等認証取得費用

2,000千円

2年以内

2/3以内



これまでの助成事例

エビスマリン株式会社

- 助成事業名 商品化研究・開発支援事業
- 助成事業テーマ 多段式水流発生装置「マルチストリーマー」商品化
- 主な助成対象経費 原材料費、委託費など

事業概要

複数の整流筒で周囲の連行流を増幅させ、従来製品より流動効率を向上させる多段式流動増幅技術を開発。この技術により、溶存酸素濃度の高い表層の水を噴流ポンプの駆動水として底層にジェット水流を起こし、水質汚濁の進行を防止する装置「マルチストリーマー」を商品化。



株式会社勝手

- 助成事業名 商品化研究・開発支援事業
- 助成事業テーマ 畳プレス機を活用した防災・防水畳の新製品開発および事業化
- 主な助成対象経費 原材料費、委託費など

事業概要

異素材を接合できるプレス接合機と、更に改善された素材を用いて防災性能を向上させながら、快適性を犠牲にすることなく、濡れてもすぐに乾くことに特長がある畳を開発。防災性能試験や防水テストをクリアし、防災・防水性に優れた畳として「洗防畳」を商品化。



問合せ先 長崎県商工会連合会

TEL 095-824-5413

FAX 095-825-0392

HP <http://www.shokokai-nagasaki.or.jp/>

MAIL  (お問い合わせフォーム)

特徴

県内の中小企業者と農林漁業者が連携して行う新商品の開発などの取り組みを支援し、地域の活性化を図る。

—支援重点分野—

- (1)農林水産物の生産段階：新規性、安全・安心、生産性の向上、高付加価値化、環境、省エネルギーなどに主眼を置いた取組
- (2)農林水産物の加工段階：新規性、安全・安心、高品質、地域性などに主眼を置いた取組
- (3)農林水産物又はその加工品の流通段階：新規性、安全・安心、品質保持、効率化などに主眼を置いた取組
- (4)その他、農林漁業並びに農林水産物またはその加工品の活用：農林漁業体験、食材提供など観光資源としての活用他

—助成事業の内容—

【農商工連携事業】

助成対象：①～②にかかる経費
①新商品・新技術・新役務の開発
②販路開拓

助成上限

助成期間

助成率

300万円

1年以内

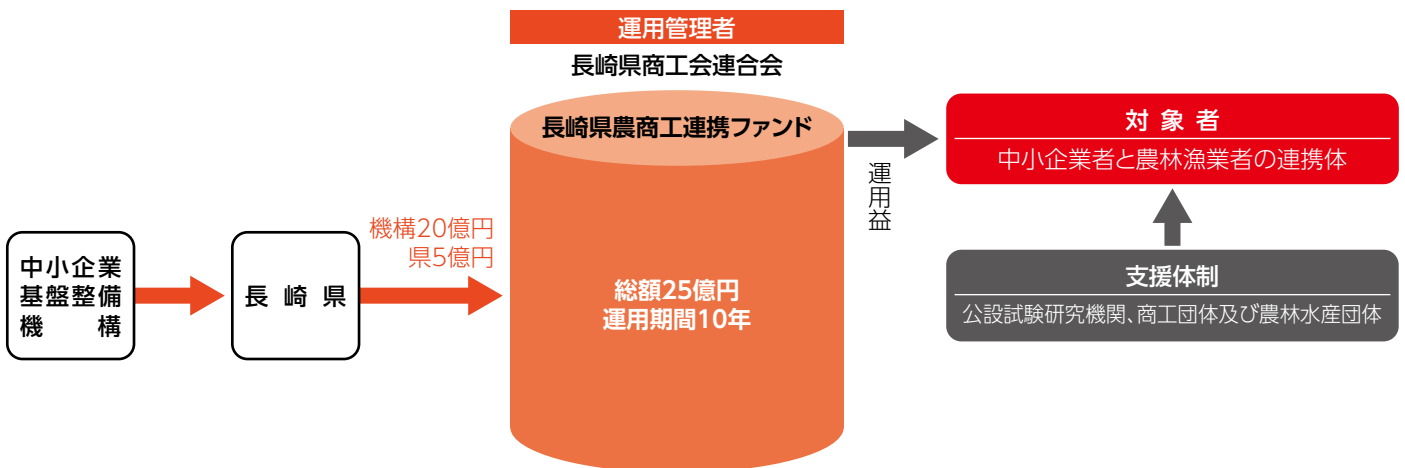
2/3以内

優遇 離島の農林漁業者が連携体に入る場合

300万円

1年以内

3/4以内



これまでの助成事例

大村湾漁業協同組合

助成事業テーマ 大村湾産黒ナマコの成分を活用した保湿効果の高い石鰯等の開発と販売

主な助成対象経費 市場調査、動向等調査、開発費用

事業概要

海産資源としての有効活用が困難だった大村湾産の黒ナマコを活用して、保湿効果の高い「黒マコ石鰯」を開発し販売。



株式会社アグリ・コーポレーション

助成事業テーマ あんのう芋とむらさき芋を使ったお芋ペーストの開発とおしゃぶりの改良

主な助成対象経費 市場調査、動向等調査、開発費用

事業概要

『芋ペーストの開発』 さつまいもを中心としたオーガニック栽培で農業を行っており、農産物以外の原材料は一切使用せず、冷凍で長期保存が可能な100%お芋のペーストを開発。『おしゃぶりの商品改良』 2年前に開発した赤ちゃん向けおしゃぶりは、手作業のため大量生産ができないことから設備を導入し、業者向けの大容量サイズの商品化にも対応。



問合せ先 公益財団法人 大分県産業創造機構

TEL 097-537-2424

FAX 097-534-4320

HP <http://www.columbus.or.jp/>

MAIL ossk@columbus.or.jp

特徴

将来的に企業の顔となり得る商品(サービスを含む)や既存商品の改良又は独自技術を生かした新分野への参入等により企業の収益力向上や事業拡大に貢献し得る商品(「旗艦商品等」)の創出を支援します。

—支援重点分野—

おおいた産業活力創造戦略に掲げるものづくり中小企業の活性化を図るため、県内の中小企業者等が地域資源や独自技術等を活用して取り組む分野に重点化し、市場調査やサンプル・試作品の製作、販路開拓などの支援を通じて、旗艦商品等を創出する。

—支援対象分野—

【助成金交付事業】

①商品開発支援事業

中小企業者等が行う旗艦商品等に関する市場調査から試作、改良に至る商品開発等

助成経費：謝金、旅費、加工費、調査研究費、技術指導等、受入費、原材料費、知財の出願に要する経費、機械装置借上料等

②販路開拓支援事業

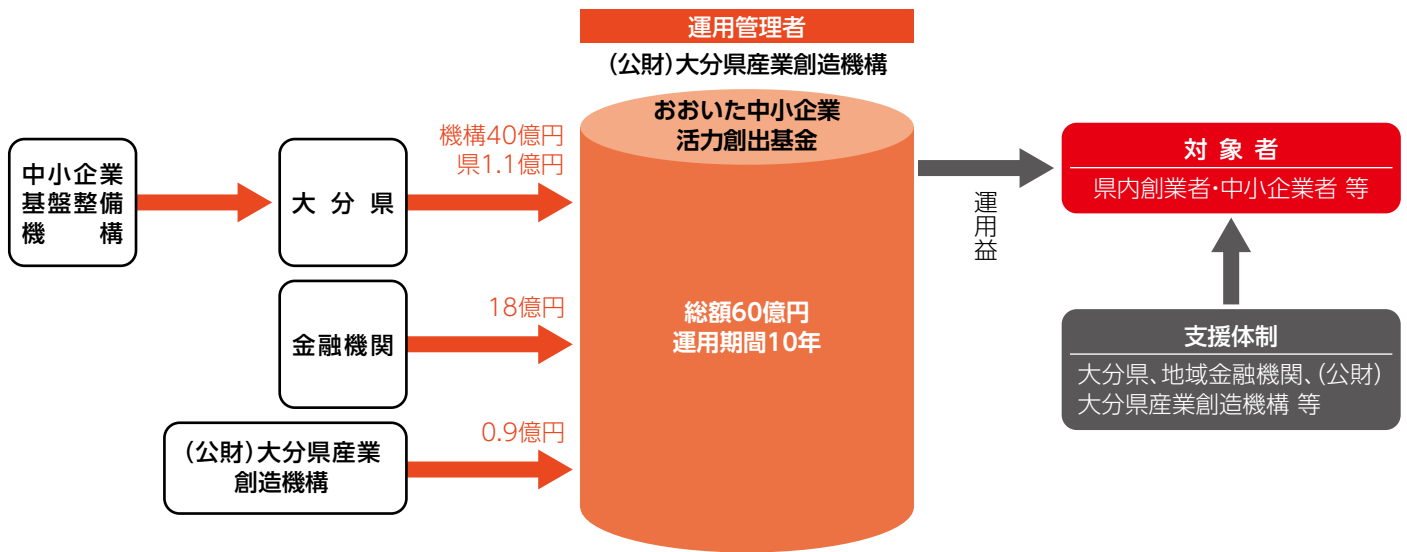
中小企業者等が行う旗艦商品等に関する展示会出展やリデザインなどの販路開拓等

助成経費：謝金、旅費、加工費、調査研究費、技術指導等、受入費、知財の出願に要する経費、デザイン料、会場借上料、装飾料、翻訳(通訳)委託料、広報関係費等

助成上限 助成期間 助成率

2,000千円 1.5年以内 2/3以内

1,000千円 1.5年以内 2/3以内



これまでの助成事例

株式会社オオツカ 大塚酒店

助成事業名 地域資源活用商品
創出支援事業(企業連携商品開発枠)

助成事業テーマ 日田梨を使った梨リキュールの開発と販路拡大

主な助成対象経費 会場借上料、
原材料費、外注費

事業概要

農(梨農家)商(大塚酒店)工(老松酒造、つえーピー)連携により、日田梨1個分の果汁を贅沢に使用した梨リキュールを開発。



有限会社川津食品

助成事業名 地域資源活用商品
創出支援事業(企業単独商品開発枠)

助成事業テーマ 県内産柚子を活用した商品開発と販路開拓

主な助成対象経費 旅費、会場借上料、
外注費

事業概要

「甘い」「酸っぱい」「辛い」「苦い」の味を素材・料理にかけることにより「旨味」が増す、「味覚」の5つの基本味すべてがバランスよく整った贅沢な柚子ごしょうを開発。



お問い合わせ

各都道府県の助成金制度について

各都道府県のファンド運営管理者に直接お問い合わせください。

地域中小企業応援ファンドの制度概要について

東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 37 森ビル

中小企業基盤整備機構 高度化事業部

高度化事業推進課

Tel : 03-5470-1633 (直通) Fax : 03-3433-0366